

取扱説明書

このたびは、**MTS** をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**MTS** を安全に正しくご使用いただくために、取り扱いに関する手順、要領および注意事項などについて説明しています。本機の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前には本書を良くお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

SANWA

プロポの安全な取扱いと注意事項

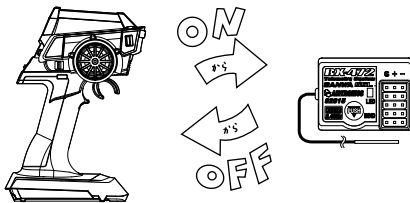
お買い上げいただいたプロポを正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みいただき、注意事項を必ず守ってください。使用方法を誤ったり、安全に対する注意をおこたったりすると、他人に迷惑をかけたり、自分自身をきずつけたりすることになります。
■安全確保のため、この各項目を必ずお守りください。



警告

搭載時及び操作上の注意

- プロポの電源スイッチをONにするときは必ず①送信機→②受信機の順でおこなってください。またOFFにするときは①受信機→②送信機の順番でおこなってください。
- ☆スイッチ操作を誤って逆にすると突然エンジンやモーターが高回転になり、大変危険です。

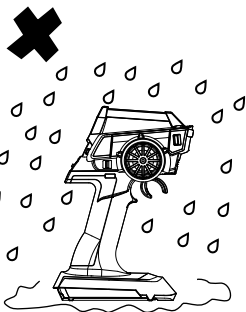


- 車体には必ずノイズ対策をおこなってください。
- ☆金属同士がこすれると電氣的ノイズ(雑音)が発生し正常な動作をしない原因となりますのでビス、ナットのゆるみのないことを確認してください。
- ☆ガソリンエンジン、モーターなどからもノイズが発生することがあります。抵抗入りプラグや、ノイズキラーコンデンサー等のノイズ対策をおこなってください。
- 走行前に必ずプロポの動作確認(通達テスト)をおこなってください。異常な動きをしたり、動かない場合は走行(航)させないでください。机上でのテストが正常であっても走行(航)中の電波の到達距離は、受信機の搭載方法、アンテナの張り方、送信機のアンテナの向き、地形等によって変わりますので、初走行(航)の際は特にご注意ください。

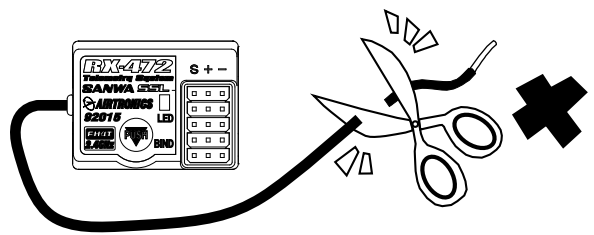
- 雨の日は絶対に走行(航)させないでください。

☆送信機内部は精密な電子部品でできていますので、ケースを伝わって水が入ると誤動作や不動となり危険です。

☆受信機、サーボ等が水没した時は、すぐに回収して内部を乾燥させてください。乾燥後に正常に動作しても念のためにサンワ サービスへ点検にお出しく下さい。



- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。
- ☆厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機はスピードコントローラー、モーター、バッテリーからできるだけ離して搭載してください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに搭載する場合は両面テープを3枚位かさねて使用し、受信機をシャシーから離してください。
- 電波障害がある場合は、受信機の搭載場所をかえるか、タテ積⇄ヨコ積に搭載方法をかえてください。
- 受信機のそばにモーターコードやバッテリーコードがあると誤動作しやすくなるので、近づけないでください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- ☆アンテナ線が短くなると走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
- ☆アンテナ線は絶対に切断しないでください。



- アンテナ線はモーターコードやバッテリーコードに近づけないようにしてください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに導電性のピアノ線アンテナを使用するとノイズにより誤動作する可能性があります。シャシーにアンテナ線を近づけないようにしてください。

⚠ 警告 走行(航)の際の注意

RCカー等を走行する場合は、必ず下記事項を守り、他の人の迷惑にならないようご注意ください。

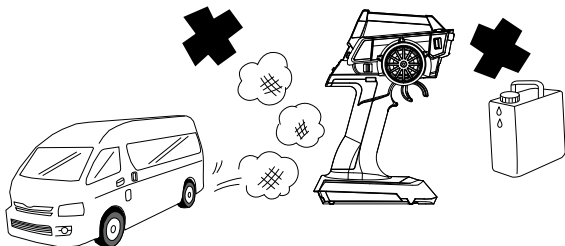
- 車体(船体)は完全に整備をして安全を確認してください。
- 人ごみや道路では絶対にRCカーを走行させないでください。
- 走行後は必ず動力バッテリーのコネクターをはずし、車体から動力バッテリーをはずしてください。
- 同時走行(航)の場合は必ず管制員を決めて、その指示に従って走行してください。
- 他の人の走行を妨げないようにご注意ください。
- ラジコン保険に必ず加入してください。ラジコン保険の加入申込はラジコン操縦士登録代行店にお問合わせください。
- エンジンカーには必ず消音効果のある「マフラー」(消音機)を付けてください。
- 早朝からのエンジン始動はやめてください。
- 走行場所は必ずきれいに掃除をしてから帰ってください。

⚠ 注意 用途について

- 模型用以外には使用しないでください。
- 本製品は模型用として日本国内の電波法に基づいて製造されていますので海外ではご使用になれません。

⚠ 注意 日常のお手入れ

- エンジンの排気や燃料がついた時は、やわらかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時には水または中性洗剤を染み込ませたきれいな柔らかい布を固くしぼって拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、モータークリーナー、ブレーキクリーナーなどは表面の仕上げをいためたり、変質する場合がありますので、ご使用にならないでください。

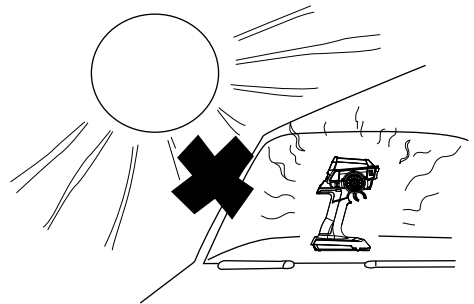


⚠ 注意 送信機の手扱いについて

- ぶつけたり、落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。またタイヤトラクション剤等のついた手で送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー等にさわると、故障やケース変形の原因となります。

⚠ 注意 置き場所について

- 次のような場所で保管しないでください。
 - ☆ 極端に暑いところ、極端に寒いところ。
 - ☆ 直射日光が長時間あたるところ。
特に窓を閉めきった自動車内で直射日光が当たる場所に放置すると季節により車内温度が80℃以上になり、変形や故障の原因となる場合がありますので充分ご注意ください。
 - ☆ 湿気の多いところ、風通しの悪いところ。
 - ☆ 振動の多いところ。
 - ☆ ほこりの多いところ、蒸気や熱気が当たるところ。
 - ☆ エンジンの排気がかかるところ、燃料缶のそば。



マークの意味

⚠	警告	事故や怪我をしないために必ず守っていただきたいこと。
⚠	注意	故障を起こさないために必ず守っていただきたいこと。

プロポの安全な取扱いと注意事項



注意

安全に使用していただくための注意事項

- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯はISM（産業、科学、医療）バンドと共用されているので都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動体識別用構内無線局にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行(航)させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行(航)してください。
- 日本国内では技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で技術適合証明ラベルが貼られていないプロポやモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会ではラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。
- 走行中は送信機のアンテナ内蔵部を握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり走行できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナ内蔵部には金属製のクリップなどを取り付けしないでください。
- 送信機のアンテナ内蔵部を受信機以外のサーボ、スピードコントローラーに極端に接近させると誤動作する場合がありますが、強い高周波出力の影響で異常ではありません。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスポンジ等を使用し防振対策をおこなってください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- 受信機のアンテナ線はモーターコードやバッテリーコードなどのノイズ源に近づけないでください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに受信機を搭載する場合は両面テープなどを重ねて使用し、できるだけシャシーから離してください。



INDEX

■セットの構成と規格	5
●セットの構成(5)	
●セットの規格(5)	
■ご使用になる前に	6
●ステアリング、スロットルのテンション調整、アジャスタブルトリガーの調整(6)	
●電源について、出力方式、バインドについて(7)	
■送信機各部の名称	8
■各機能の使用方法	9
●キー操作について(9)	
●ディスプレイパネルについて(10)	
●メニュー構成について(11)	
●セッティング[SETTING](12~22)	
・デュアル レート[D/R](12)	
・スピード[SPEED](13)	
・カーブ[CURVE](14)	
・フェール セーフ[F/S](15)	
・ベース[BASE](16~18)	
リバース[REV](16)	
サブトリム[SUB-T](16)	
エンドポイントアジャスト[EPA](17, 18)	
・ファンクション[FUNC](19~22)	
トリム[TRIM](19)	
アンチ ロック ブレーキ[ALB](20)	
オフセット[OFFSET](21)	
スロットル タイプ[TH TYPE](22)	
●エー ユー エックス[AUX](23~28)	
・ステップ エー ユー エックス[STEP AUX](23)	
・ポイント エー ユー エックス[POINT AUX](24)	
・4ホイール ステアリング[4WS](25)	
・モーター オン アクスル[MOA](26)	
・エーユー エックス ミキシング[AUX-MIX](27)	
・コード エー ユー エックス[CODE AUX](28)	
●モデル[MODEL](29~32)	
・モデル セレクト[MODEL SELECT](29)	
・モデル ネーム[MODEL NAME](30)	
・モデル コピー[MODEL COPY](31)	
・モデル クリア[MODEL CLEAR](32)	
●タイマー[TIMER](33, 34)	
・ラップ タイマー[LAP TIMER](33)	
・インターバル タイマー[INT TIMER](34)	
・ダウン タイマー[DOWN TIMER](34)	
●テレメトリー[TELEMETRY](35, 36)	
・ロガー[LOGGER](35)	
・アラート セッティング[ALERT SETTING](36)	
・テレメトリー セッティング[TELEMETRY SETTING](36)	
●システム[SYSTEM](37~42)	
・バインド[BIND](37, 38)	
・キー アサイン スイッチ[KEY ASSIGN SW](39)	
・キー アサイン トリム[KEY ASSIGN TRIM](40)	
・ブザー[BUZZER](41)	
・バッテリー[BATTERY](41)	
・エル シー ディー[LCD](42)	
・ボリューム アジャスト[VR ADJUST](42)	
●セットアップ ウィザード(43, 44)	
■受信機の接続と搭載について	45~47
●受信機について	
●アンテナの取り扱いについて	
●アンテナ内蔵受信機について	
●テレメトリーセンサー対応受信機について	
●センサーの取り付けについて	
■キーアサイン機能一覧	48
■索引	49
■こんなときは	50
■サンワサービスについて	51
■修理依頼カード	
■保証書	

セットの構成と規格

セットの構成と規格

セットの構成

	RX-482 PC プライマリコンポーネント	RX-481 PC プライマリコンポーネント	RX-472 PC プライマリコンポーネント	RX-471 PC プライマリコンポーネント	RX-380 PC プライマリコンポーネント
送信機	TX-461	←←←←←←←←	←←←←←←←←	←←←←←←←←	←←←←←←←←
受信機	RX-482	RX-481	RX-472	RX-471	RX-380
サーボ	—	—	—	—	—
取扱説明書	○	○	○	○	○
受信機ダストカバー x 1	○	○	○	○	—
スイッチハーネス x 1	○	○	○	○	○

●ご使用になる前にセットの内容をお確かめください。

セットの規格

<A>送信機

品番	TX-461
出力表示	アナログ/デジタル表示(電源電圧表示)
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
電源	単3乾電池 x 4本(対応電圧DC4.8~7.4V)
重量	366g

受信機

品番	RX-482
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	18.2x24.4x27.1mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	7.1g

品番	RX-481
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	18.2x24.4x27.1mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	7.1g

品番	RX-472
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	30.0x23.3x14.0mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	6.6g

品番	RX-471
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	30.0x23.3x14.0mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	6.6g

品番	RX-380
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	37.5x24.7x14.1mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	8.0g

ご使用になる前に

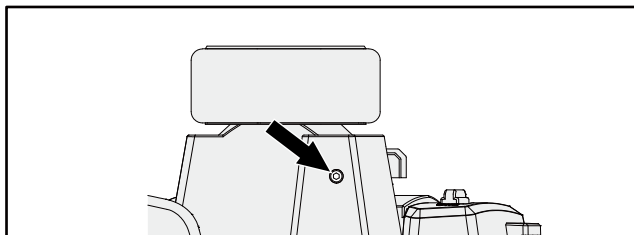
ステアリング、スロットルのテンション調整

MT-Sはステアリング/スロットルの操作感をユーザーの好みにあわせられるようにステアリング/スロットルトリガーのテンションを簡単に調整できます。

ステアリングのテンション調整

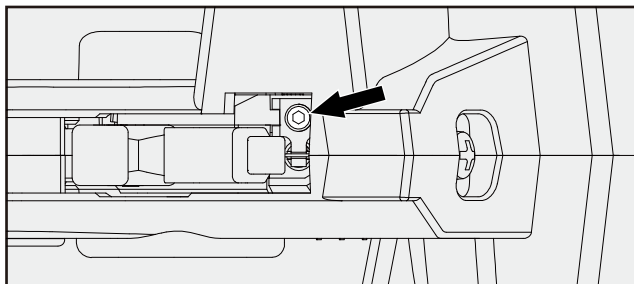
右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー(1.5mm)を挿して廻すことにより、ステアリングのスプリングテンションを調整できます。

※スプリングテンションは工場出荷時が一番柔らかい状態です。六角レンチドライバー(1.5mm)で締め込んでいくと、スプリングテンションは硬くなります。



スロットルトリガーのテンション調整

右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー(1.5mm)を挿して廻すことにより、スロットルトリガーのスプリングテンションを調整できます。



アジャスタブルトリガーの調整

MT-Sはアジャスタブルトリガーにより、ユーザーの手の大きさに合わせてトリガーポジションの調整を細かくおこなえます。

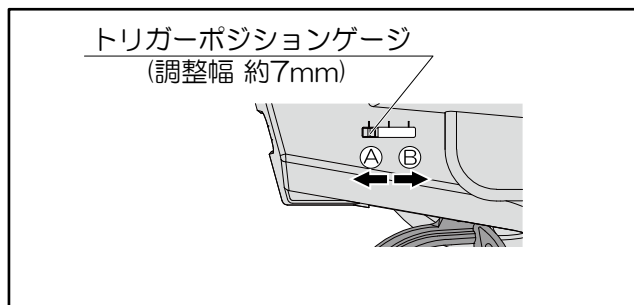
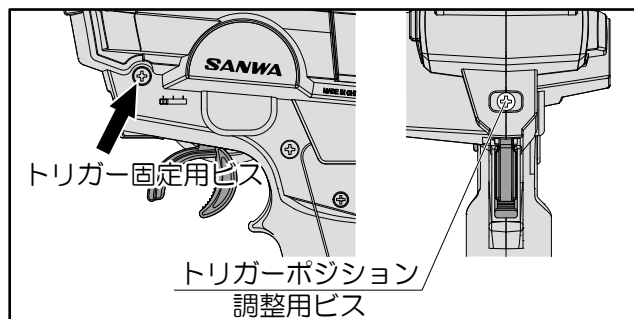
トリガーポジションの調整

送信機裏側にあるトリガー固定用ビスをゆるめます。次に送信機側面にあるトリガーポジション調整用ビスを調整してトリガーを好みの位置に決定します。トリガーポジション調整用ビスは○の廻りでトリガーポジションゲージはⒶの方向に動きます。調整用ビスの廻りでⒷの方向へ動きます。

※トリガーの移動範囲は約7mmですので、範囲を超えて無理に調整用ビスを廻すと故障の原因となりますのでご注意ください。

トリガーの位置が決定しましたら、トリガー固定用ビスを締めてトリガーの調整は終了です。

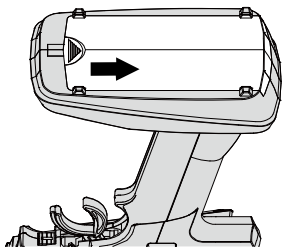
※工場出荷状態でトリガーの位置はⒶ側が一番奥の位置になっていますのでビスを廻す方向にはご注意ください。



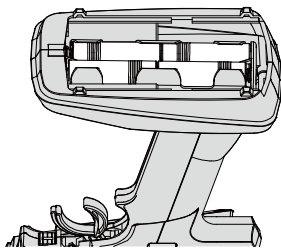
ご使用になる前に

電源について

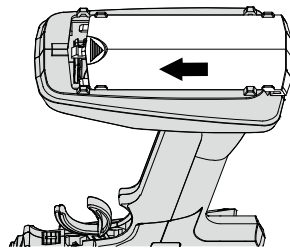
送信機の電池の入れ方



①OPEN部を軽く押しながら矢印の方向へスライドさせると電池カバーが開きます。



②極性を間違えないで乾電池を4本入れてください。



③電池カバーの凸部分を本体の溝に合わせ、矢印の方向に電池カバーをスライドさせて完全にしめます。

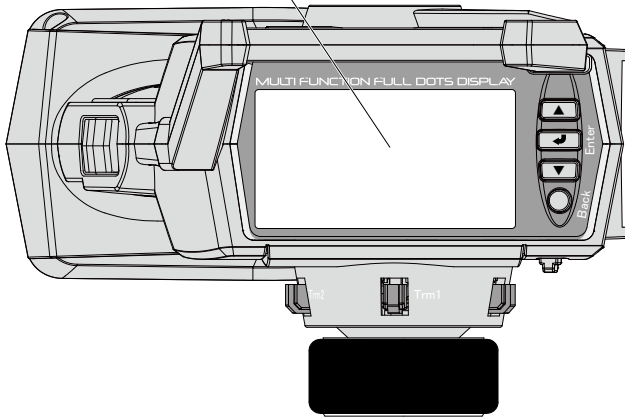
出力方式、BIND (バインド) について

- BIND(バインド)とは：MT-S送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもっており、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND)です。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。
- SYSTEMの< BIND >の[RF MODE]でお使いになる受信機にあわせて出力方式の設定をおこなってください。
- 出荷時にはバインドされていません。ご使用になる前に必ずバインドをおこなってください。
- ご使用になる受信機にあわせて、MT-Sの< BIND >の[RF MODE](出力方式)の設定をしてバインドをおこなってください。送信機と受信機のタイプ(出力方式)があてないと、バインド及び動作いたしませんのでご注意ください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でバインドをおこなってください。
- 必ずバインドした送信機と受信機のセットでお使いください。

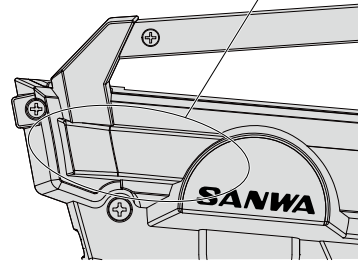
※BIND(バインド)の詳しい設定については取扱説明書P.37、38の手順にしたがっておこなってください。

送信機各部の名称

ディスプレイパネル



アンテナ内蔵部



トリム 1
(TRM 1)

ステアリングホイール

トリム 2
(TRM 2)

ストラップホール

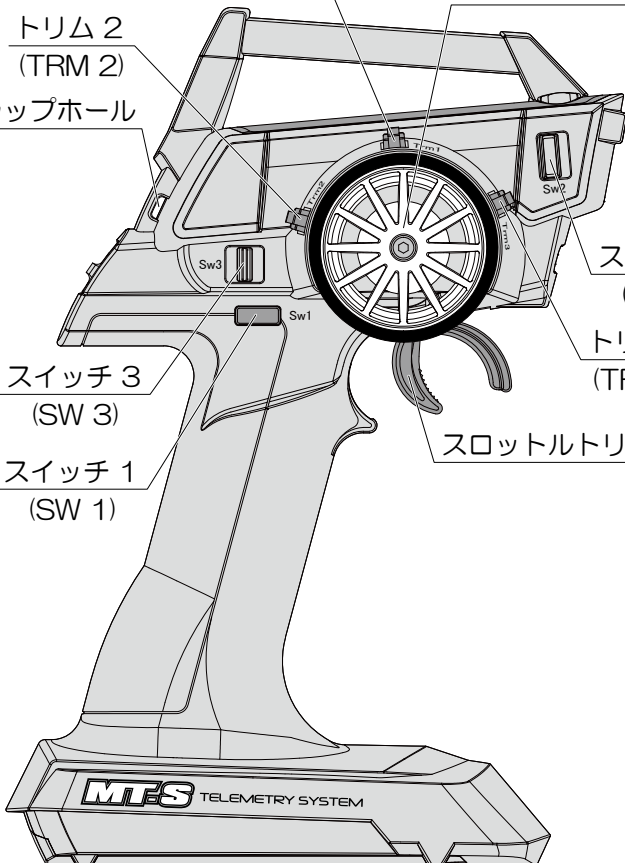
スイッチ 3
(SW 3)

スイッチ 1
(SW 1)

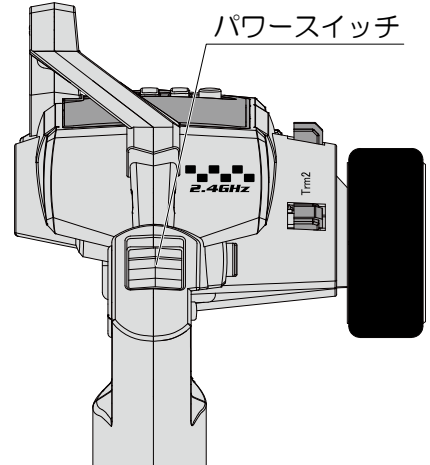
スイッチ 2
(SW 2)

トリム 3
(TRM 3)

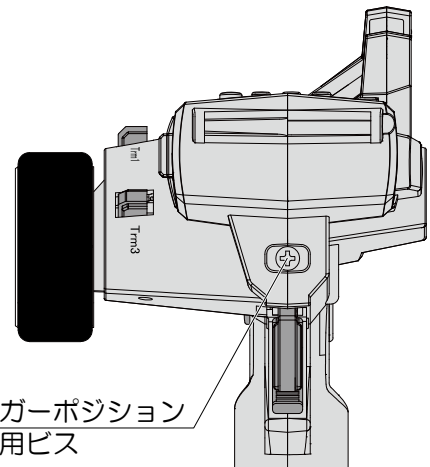
スロットルトリガー



パワースイッチ



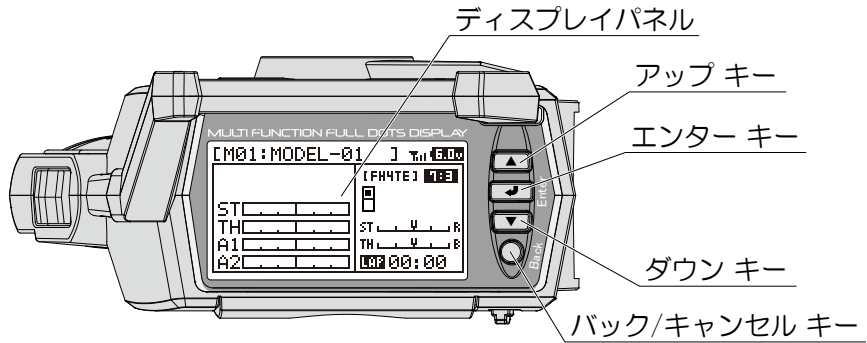
トリガーポジション
調整用ビス



各機能の使用方法

キー操作について

●それぞれのキーを使用して機能の設定やモデルメモリの呼び出しなどを簡単におこなえます。

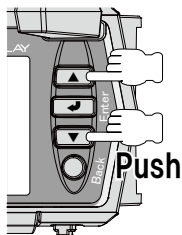
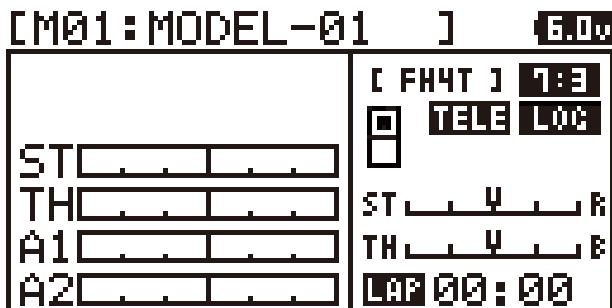


キー操作	名称	動作
	エンター	<ul style="list-style-type: none"> ●トップ画面から設定画面に移動します。 ●設定する機能、項目を選択します。 ●長押しで設定値が初期値に戻ります。
	アップ	<ul style="list-style-type: none"> ●カーソルが上(右)方向へ移動します。 ●設定値が増加します。
	ダウン	<ul style="list-style-type: none"> ●カーソルを下(左)方向へ移動します。 ●設定値が減少します。
	バック/キャンセル	<ul style="list-style-type: none"> ●一つ前の状態に戻ります。 ●設定をキャンセルします。

ディスプレイパネルについて

- MT-Sの各機能はそれぞれのキーでダイレクトに選択できるようになっています。
- それぞれのチャンネルを別々に機能の設定をおこなうことができます。
- パワースイッチをONにすると必ずトップ画面から立ち上がります。
各種設定を変更する場合はトップ画面からエンター操作でメニューを選択して設定をおこなってください。

トップ画面

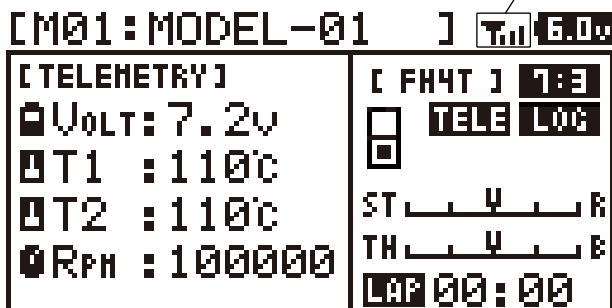


トップ画面でアップ/ダウン操作をおこなうと
トップ画面⇄テレメトリー画面の切り替えに
なります。

テレメトリー通信の際に
アンテナマークが表示されます。

テレメトリー画面

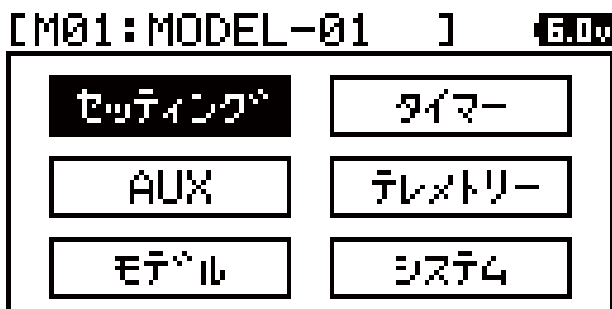
- ※テレメトリー画面で
ダウンキーを操作
するとテレメトリー
データのMAX値を
表示します。
ダウンキー長押しで
MAX値がクリアされ
ます。



SV-PLUSシリーズ、RX-482/RX-472とSUPER VORTEXシリーズや、
RX-461/RX-462に各種センサーを接続して組み合わせた場合に、
MT-Sのテレメトリー機能をONにすると送信機にテレメトリーデータ
が送られて画面に表示されます。

メニューウインド

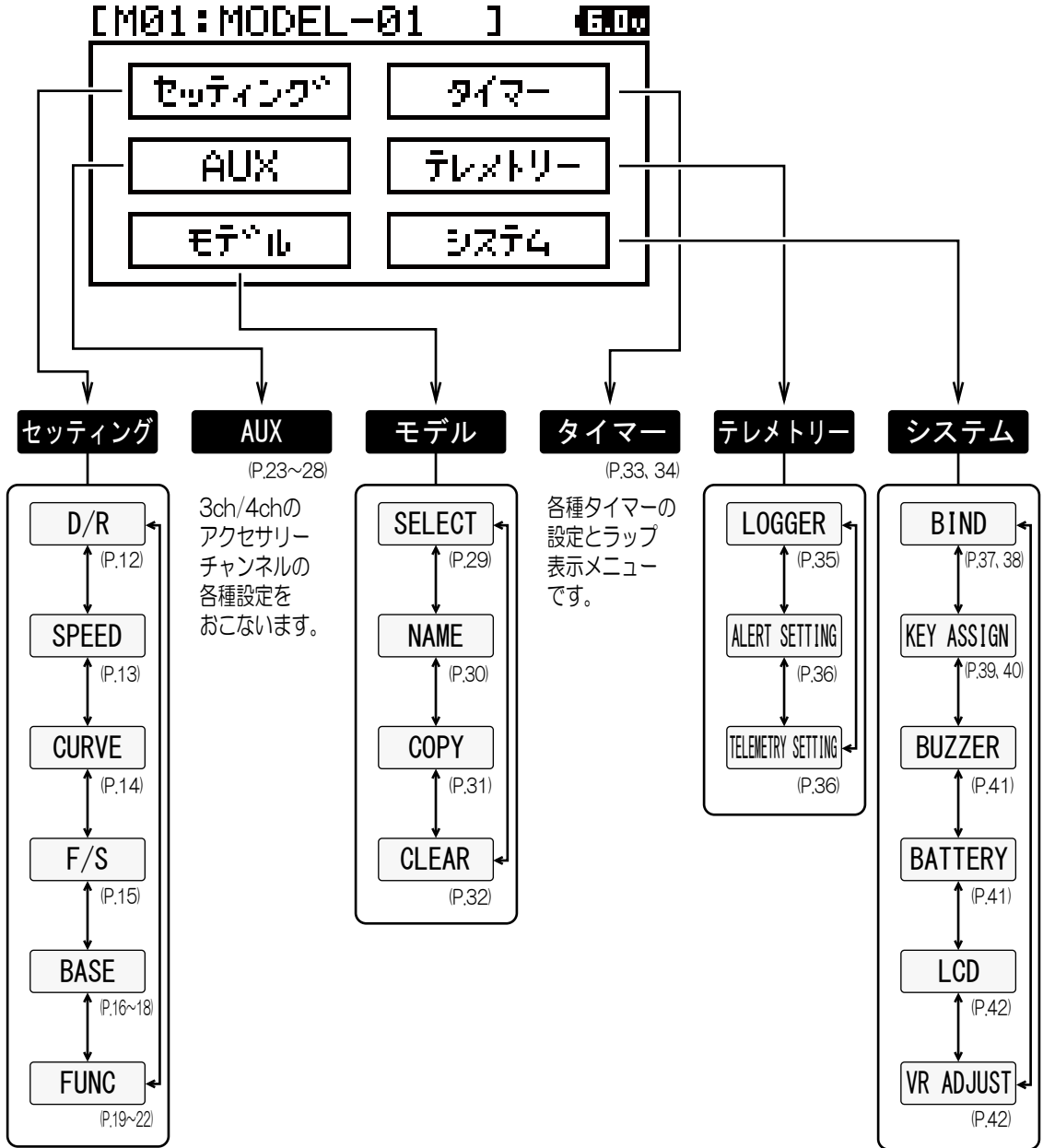
- ・設定するメニューを
選びます。(画面例)
- ※トップ画面から
エンター操作



各機能の使用法

メニュー構成について

- それぞれのキーを使用して、機能の設定やモデルメモリーの呼び出しなどを簡単におこなえます。
- メニューはセッティング、AUX、モデル、タイマー、テレメトリー、システムのメニューで構成されており、それぞれのメニュー内に関連する機能が含まれています。



デュアル レート [D/R]

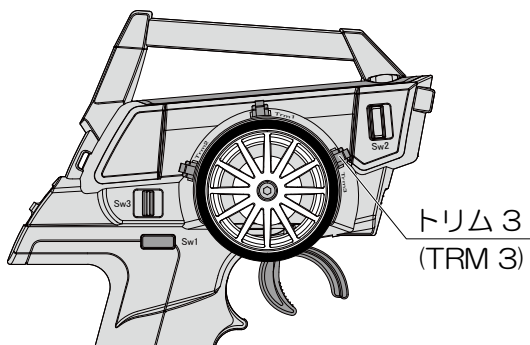
セッティング/SETTING

- ステアリング ホイール、スロットル トリガーを最大に操作したときの舵角を調整できます。RCカーや路面コンディションに対応させるために走らせながら調整します。
- ※ステアリングは左右同時、スロットルはハイ側/ブレーキ側を別々に調整することが可能です。ブレーキ側もEPAで調整するよりも細かく調整できます。
- ステアリング ホイール/スロットル トリガーを操作してリンケージがロックする状態からデュアル レート(D/R)の設定値を増やさないください。
- スロットル側のデュアル レートを調整することで、より細かな調整が可能になります。
- ※A1/A2にカーソルは移動しますが、設定値は調整できません。

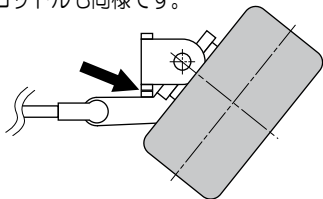
- 1) アップキー/ダウンキーで調整する機能[ST/TH/BR]を選択します。
- 2) エンターキーで調整する機能を決定して、アップキー/ダウンキーで設定値を調整します。
- 3) 走行中のステアリングデュアルレートはトリム3で調整できます。トリムアサイン機能でトリム3にステアリングデュアルレート以外の機能を割り当てるのが可能です。(P.40)
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

○設定範囲 ST/TH/BR : 0%~100%

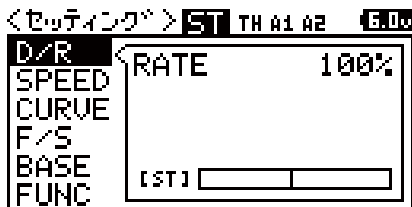
○初期値 ST/TH/BR : 100%



※サーボがロックしてジリジリ
うならないように注意！
注)スロットルも同様です。

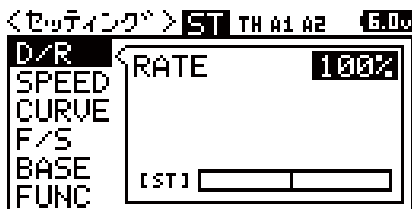


ステアリング デュアル レート選択画面



↓ ENTER (エンター)

ステアリング デュアル レート設定画面



注意

●リンケージがロックした状態が長く続くと、サーボモーター破損の原因になります。

補足

- デュアルレートの調整をおこなう前にステアリング/スロットル リンケージのエンド ポイント アジャストをおこなってください。(P.17, 18)

各機能の使用法

スピード [SPEED]

セッティング/SETTING

- ステアリング/スロットルなどで使用するサーボのスピードを制御する機能です。設定することにより急激な操作をおこなってもRCカーには反応がでないようにすることができます。ステアリング側ではスムーズなコーナークラックが可能となり、スロットル側ではパワーセーブしたスロットルワークでコーナーから安定した立ち上がりを実現します。
※AUXのTYPEを[CODE]に設定するとAUXチャンネルのスピード機能は調整できません。
※AUXチャンネルのスピード設定はステアリング/スロットルを参考にして調整してください。

[ST] ステアリング・スピード

- ステアリング操作に対してステアリング サーボのスピードを遅らせる機能です。ステアリングをきるとき(フォワード)と戻るとき(リターン)のスピードを独立して設定できます。なお、設定より遅いステアリング操作ではスピード機能は働きません。

- 1) アップキー/ダウンキーで[ST(ステアリング)]を選択します。
- 2) フォワード側の設定(FORWARD)
エンターキーで[FORWARD]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

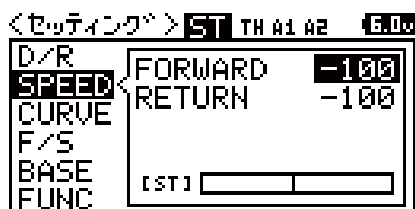
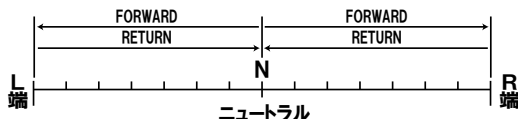
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

- 設定範囲 0～-100
- 初期値 0

- 3) リターン側の設定(RETURN)
エンターキーで[RETURN]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

- 設定範囲 0～-100
- 初期値 0

※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値が決まらないときは設定値を0%(リニア)にしてください。



補足

- RCカーのドライビングではRCカーの動きにあわせたステアリング操作が重要であり過大操作は禁物です。ステアリングスピードは無駄な操作をおさえ、スムーズなコーナリングを実現できます。
- ステアリングスピードとステアリングカーブを併用するとさらに効果が倍増します。

[TH] スロットル・スピード

- スロットル操作に対してスロットル サーボの動作スピードやスピードコントローラーの反応を遅らせる機能です。スロットルをいれるとき(フォワード)と戻るとき(リターン)のスピードを独立して設定できます。なお、設定より遅いスロットル操作ではスピード機能は働きません。※ハイ側のみを設定となります。

- 1) アップキー/ダウンキーで[TH(スロットル)]を選択します。
- 2) フォワード側の設定(FORWARD)
エンターキーで[FORWARD]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

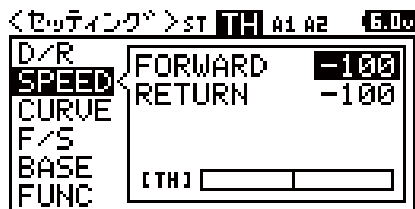
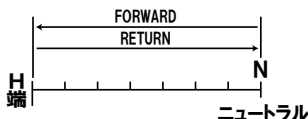
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

- 設定範囲 0～-100
- 初期値 0

- 3) リターン側の設定(RETURN)
エンターキーで[RETURN]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

- 設定範囲 0～-100
- 初期値 0

※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値がきまらないときは設定値を0%(リニア)にしてください。



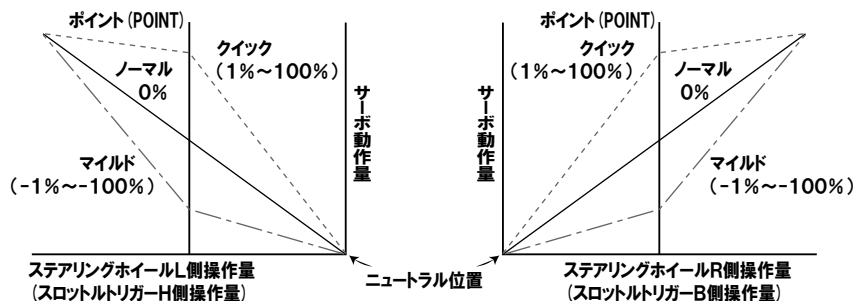
補足

- RCカーのドライビングではRCカーの動きにあわせたスロットル操作が重要であり過大操作は禁物です。スロットルスピードは無駄な操作をおさえ、スムーズな動作を実現できます。
- スロットルスピードとスロットルカーブを併用するとさらに効果が倍増します。

カーブ [CURVE]

セッティング/SETTING

- ステアリング ホイール/スロットル トリガーの操作に対してサーボの動作量を可変させる機能です。設定値をプラス(+)側にするるとクイックに。マイナス(-)側にするるとマイルドに反応します。
- MT-Sは直線的な動作のアジャスタブル レート コントロール(ARC)を採用しています。
- ※AUXのTYPEを[CODE]に設定するとAUXチャンネルのカーブ機能は調整できません。
- ※AUXチャンネルのカーブ設定はステアリング/スロットルを参考にして調整してください。
- ・アジャスタブル レート コントロール(ARC)
ポイント(PPOINT)を調整することで動作が可変する位置を変えることができます。



[ST] ステアリング・カーブ

- ステアリング特性をマイルド⇄ニア⇄クイックまで可変できます。一般的にRCカーがオーバーステアに感じられるときは設定値をマイナス側に調整し、アンダーステアに感じたときは数値をプラス側に設定します。ステアリング・カーブはL/R同時設定になります。

1) アップキー/ダウンキーで[ST(ステアリング)]を選択します。

2) レートの設定(RATE)
エンターキーで[RATE]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

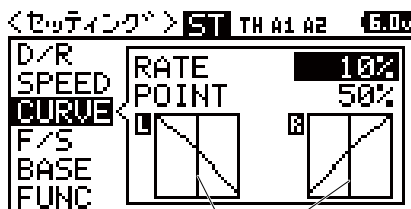
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

- 設定範囲 -100%~100%
- 初期値 0

3) ポイントの設定(PPOINT)

エンターキーで[PPOINT]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

- 設定範囲 5~95
- 初期値 50



ポイント設定位置

[TH] スロットル・カーブ

- スロットル特性をマイルド⇄ニア⇄クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバークリップを感じる時には設定値をマイナス側に調整し、ハイグリップな路面状態やパワーユニットにパワー不足を感じる時には数値をプラス側に設定します。ハイ側/ブレーキ側を個別に設定可能です。
- ※ハイ側(H)/ブレーキ側(B)の選択はトリガー操作によっておこないます。

1) アップキー/ダウンキーで[TH(スロットル)]を選択します。

H/Bはトリガー操作で選択

2) レートの設定(RATE)
エンターキーで[RATE]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

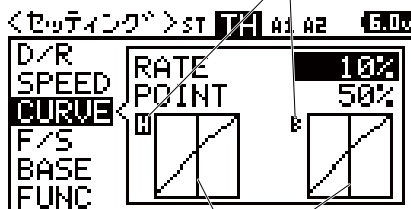
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

- 設定範囲 -100%~100%
- 初期値 0

3) ポイントの設定(PPOINT)

エンターキーで[PPOINT]を選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整します。

- 設定範囲 5~95
- 初期値 50



ポイント設定位置

各機能の使用手法

フェールセーフ [F/S]

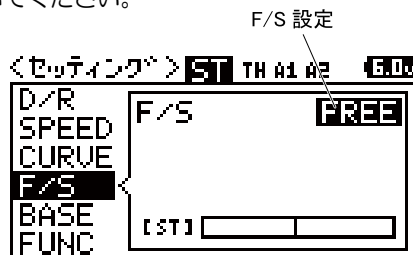
セッティング/SETTING

- フェールセーフとは受信機が送信機からの電波を受信できないような状況になった場合に各チャンネルをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能で、エンジンRCカーで受信機側のバッテリー電圧が設定電圧以下になった場合にスロットルチャンネル(2ch)のサーボをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能がバッテリーフェールセーフです。
 - バッテリーフェールセーフはスロットルチャンネル(2ch)がFREE/HOLDに設定されている場合は設定できません。(※バッテリーフェールセーフはスロットルチャンネルにのみ動作します。)
- ※電動RCカーではバッテリーフェールセーフの機能は使用しないでください。

1) アップキー/ダウンキーでフェールセーフを設定するチャンネル(ST/TH/A1/A2)を選択します。

2) 設定する[チャンネル]をエンターキーで決定して、アップキー/ダウンキーで調整します。アップキー/ダウンキーを操作するとフェールセーフの設定がFREE→FS→HOLDの順番で切り替ります。

- 設定範囲 FREE/FS(100%~100%)/HOLD
- 初期設定 FREE



※各モードについて

FREE (フリーモード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなるとサーボへの信号出力を停止してサーボはフリーの状態になります。

FS(フェールセーフモード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると設定した位置にサーボを保持します。

HOLD (ホールドモード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなる直前の位置を保持します。

・FREE/HOLD/FSの各モードは送信機からの信号を再び受信できるようになった場合は自動的に解除します。

3) フェールセーフ(FS)の設定

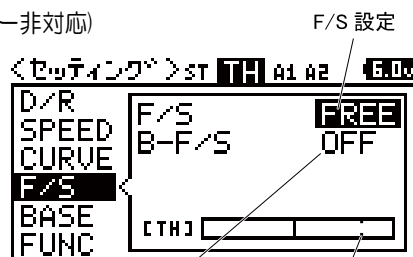
フェールセーフモードで動作させる位置に操作して、位置が決定したらエンターキーを長押ししてフェールセーフが働いたときの位置を設定します。

※安全面からフェールセーフの設定はスロットルチャンネルをブレーキ側に設定することをおすすめします。

4) バッテリーフェールセーフの設定

スロットルチャンネルの位置を設定後、カーソルを[B-F/S]に移動して電圧を設定します。

- 設定範囲 ・FH3の場合：OFF, 3.5v~5.0v (※Li-Poバッテリー非対応)
- ・FH4の場合：OFF, 3.5v~7.4v



BATT-F/S 設定

F/S設定位置

5) フェールセーフの確認

フェールセーフの設定がおこなわれている状態で送信機の電源をOFFにして、フェールセーフを設定したポジションにサーボが移動するか確認してください。

重要

- フェールセーフについて
フェールセーフ機能をONにした場合は走行前にフェールセーフの設定を確認してください。走行中にフェールセーフの設定を変更しないでください。

ベース [BASE]

セッティング/SETTING

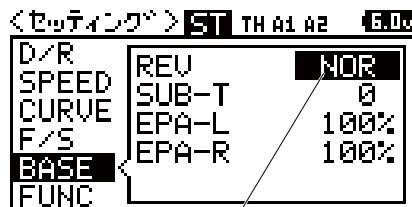
- ベース[BASE]とはRCカーに合わせて各チャンネルのサーボやスピードコントローラー等の動作方向を決めるリバースやニュートラル位置を調整するサブトリム、動作量を設定するエンドポイントアジャスト(EPA)の機能を一つの機能(ベース)に集約させて一括で設定できるようにした機能です。

リバース[REV]

- ステアリング/スロットル/A1/A2を操作したときに、操作とサーボの動作が逆になる場合に使用します。

- 1) アップキー/ダウンキーで動作方向を変更するチャンネル(ST/TH/A1/A2)を選択します。
 - 2) 設定する[チャンネル]をエンターキーで決定して、アップキー/ダウンキーで調整します。
- ※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

- 設定範囲 NOR/REV
- 初期値 NOR



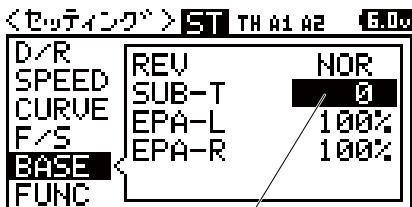
REV設定

サブトリム[SUB-T]

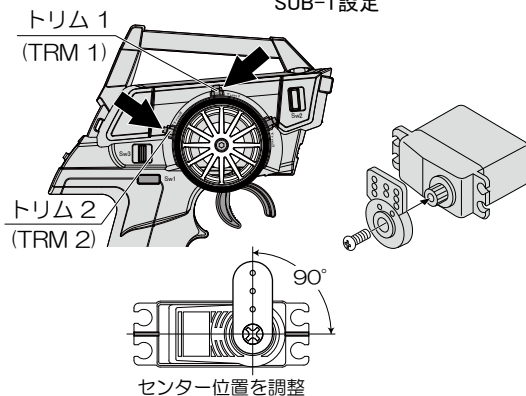
- サブトリム機能を使用してステアリング/スロットル/A1/A2のニュートラル(センター)を補正し、トリムはセンター位置で使用できるようにします。RCカーへサーボを搭載するときにサブトリムでサーボのセンターを出してからエンドポイントアジャストの調整をおこなってください。

- 1) 使用する前に各メイントリムをセンター(0)にしてください。
 - 2) アップキー/ダウンキーでサブトリムの調整をおこなう[チャンネル(ST/TH/A1/A2)]を選択します。
 - 3) エンターキーで設定するチャンネルを決定します。
 - 4) サーボホーン(サーボセーバーホーン)をセンター位置にいちばん近いところに取り付けます。
- ※サーボホーン(サーボセーバーホーン)の取り付け位置については車体側の取扱説明書にしたがってください。
- 4) アップキー/ダウンキーを操作してセンターを調整します。

- 設定範囲 L150~R150(ST), H150~B150(TH), H150~L150(AUX1, AUX2)
- 初期値 0



SUB-T設定



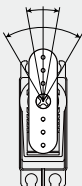
注意

- サーボにサーボホーンを取り付ける際に、できるだけセンターに近い位置でサーボホーンを固定してサブトリムでセンターを出してください。サブトリムと送信機メイントリムが片方にかたよると、ステアリングホイールやスロットルトリガーにレッドバンド(サーボが動かない領域)が発生します。

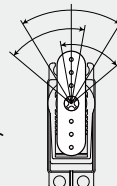
重要

- トリムとサブトリムについて
トリムとは、サーボのニュートラル(センター)位置を調整する機能です。ステアリングサーボを車体に搭載後走行させて直進しない場合にステアリングのメイントリムを調整します。
また、エンジンRCカーでのキャブレターのニュートラル位置はサーボ搭載後にリンクージ調整と共にスロットルサーボのニュートラル調整の必要があります。ニュートラル位置の調整はサーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。MT-Sのトリムは動作角の端はそのままニュートラル位置だけを調整するセンタートリムと動作角の端とニュートラル位置を一緒に動かすパラレルトリムの2種類があります。サーボホーンを固定する前にニュートラル(センター)位置を調整するサブトリムはパラレルトリムで、メイントリムがセンタートリムです。

- センタートリム(メイントリム)
トリムでニュートラル位置を移動しても動作角の端は動きません。



- パラレルトリム(サブトリム)
トリムでニュートラル位置を移動すると動作角の端も一緒に移動します。リンクージをおこなった後でサブトリムを調整した場合はエンドポイントアジャスト(EPA)の再調整が必要になります。



各機能の使用法

ベース [BASE]

セッティング/SETTING

- ベース[BASE]とはRCカーに合わせて各チャンネルのサーボやスピードコントローラー等の動作方向やニュートラル位置を調整するサブトリム、動作量を設定するエンドポイントアジャスト(EPA)の機能を一つの機能(ベース)に集約させて一括で設定できるようにした機能です。

エンドポイントアジャスト[EPA]

- ステアリングホイール/スロットルトリガーを操作した際のステアリングサーボの左右動作量の調整、スロットルサーボのハイ側、ブレーキ側動作量の調整やAUX1、AUX2(3ch、4ch)のサーボ動作量の調整が可能です。

[ST-EPA] ステアリング・エンドポイントアジャスト

- リンケージやサスバランス、タイヤ径の違いなどから左右のコーナリング半径が違うことがあります。このようなときに左右のサーボ動作量を調整して左右のコーナリング半径が同じになるように調整します。

1)ステアリング・エンドポイントアジャスト(ST-EPA)を調整する前にサーボのニュートラル調整(P.16)をおこなってください。

- ・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムでセンター位置をあわせることです。

2)アップキー/ダウンキーで[ST/ステアリング]を選択します。

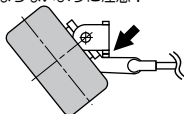
3)エンターキーで[ST/ステアリング]を決定。
アップキー/ダウンキーで[EPA-L/EPA-R]のどちらかを選択してエンターキーで決定します。

4)ステアリングのR側を設定するときはステアリングホイールを右に操作しながら、L側を設定するときは左に操作しながら、アップキー/ダウンキーで動作量を調整します。

○設定範囲 L/R 0~150%

○初期値 L/R 100%

※サーボがロックしてジリジリうならないように注意!



<セッティング> ST TH A1 A2 6.00		
D/R	REV	NOR
SPEED	SUB-T	0
CURVE	EPA-L	100%
F/S	EPA-R	100%
BASE		
FUNC		

⚠ **注意** ●リンケージがロックした状態が長く続くと、サーボ破損の原因になります。

[TH-EPA] スロットル・エンドポイントアジャスト

- FETスピードコントローラーのハイポイント、ブレーキポイントの調整、エンジンカーのキャブレター、ブレーキ動作量の調整をおこないます。

1)エンジンカーの場合にはスロットル・エンドポイントアジャスト(TH-EPA)を調整する前にサーボのニュートラル調整(P.16)をおこなってください。

- ・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムでセンター位置をあわせることです。

2)アップキー/ダウンキーで[TH/スロットル]を選択します。

3)アップキー/ダウンキーで[EPA-H/EPA-B]のどちらかを選択してエンターキーで決定します。

3)FETスピードコントローラーを調整する場合には通常ハイ側、ブレーキ側共に設定値を100%にしておき、FETスピードコントローラー側でニュートラル、ハイポイント、ブレーキポイントを設定します。
(FETスピードコントローラーによって設定方法が異なります。)
エンジンカーでスロットルのH側を設定するときはスロットルトリガーをハイ側に操作しながら、ブレーキ側を設定するときはブレーキ側に操作しながら、アップキー/ダウンキーで動作量を調整します。

○設定範囲 H/B 0~150%

○初期値 H/B 100%

※サーボがロックしてジリジリうならないように注意!



<セッティング> ST TH A1 A2 6.00		
D/R	REV	NOR
SPEED	SUB-T	H100
CURVE	EPA-H	100%
F/S	EPA-B	100%
BASE		
FUNC		

⚠ **注意** ●スロットルリンケージでキャブレター全開側、ブレーキ側のEPA設定値が大きすぎるとサーボがロックした状態になりサーボモーターの故障原因となり、暴走の危険があります。

[A1-EPA] AUX1・エンド ポイント アジャスト

●AUX1はアクセサリ等の動作に使用でき、EPAにより最大舵角(動作量)の調整が可能です。
H(ハイ)/L(ロー)個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。

※AUX TYPEでAUX1を[CODE AUX]に設定するとEPAは調整できません。

- 1)AUX1・エンド ポイント アジャスト(A1-EPA)を調整する前にサーボのニュートラル調整(P.16)をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブ トリムでセンター位置をあわせることです。
- 2)アップキー/ダウンキーで[A1]を選択します。
- 3)エンターキーで[AUX1]を決定。
アップキー/ダウンキーで[EPA-H/EPA-L]のどちらかを選択してエンターキーで決定します。
- 4)アップキー/ダウンキーで動作量を調整します。

○設定範囲 H/L 0~150%

○初期値 H/L 100%

＜セッティング＞ ST TH A1 A2 END		
D/R	REV	NOR
SPEED	SUB-T	0
CURVE	EPA-H	100%
F/S	EPA-L	100%
BASE		
FUNC		

[A2-EPA] AUX2・エンド ポイント アジャスト

●AUX2はアクセサリ等の動作に使用でき、EPAにより最大舵角(動作量)の調整が可能です。
H(ハイ)/L(ロー)個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。

※AUX TYPEでAUX2を[CODE AUX]に設定するとEPAは調整できません。

- 1)AUX2・エンド ポイント アジャスト(A2-EPA)を調整する前にサーボのニュートラル調整(P.16)をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブ トリムでセンター位置をあわせることです。
- 2)アップキー/ダウンキーで[A2]を選択します。
- 3)エンターキーで[AUX2]を決定。
アップキー/ダウンキーで[EPA-H/EPA-L]のどちらかを選択してエンターキーで決定します。
- 4)アップキー/ダウンキーで動作量を調整します。

○設定範囲 H/L 0~150%

○初期値 H/L 100%

＜セッティング＞ ST TH A1 A2 END		
D/R	REV	NOR
SPEED	SUB-T	0
CURVE	EPA-H	100%
F/S	EPA-L	100%
BASE		
FUNC		

各機能の使用法

ファンクション [FUNC]

セッティング/SETTING

- ファンクションは各チャンネルのトリムやスロットル チャンネルのALB(アンチ ロック ブレーキ)、OFFSET(オフセット)、TH TYPE(スロットル タイプ)の設定値を調整することが可能です。

トリム[TRIM]

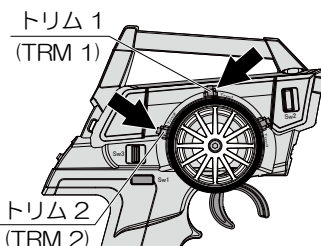
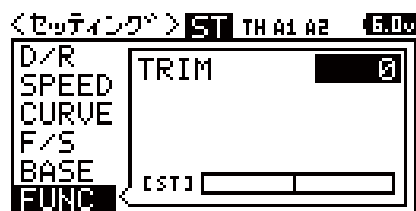
- トリム機能でそれぞれのチャンネル(ST/TH/A1/A2)のニュートラル(センター)を補正します。
- 初期設定ではトリム1(TRM1)にステアリング、トリム2(TRM2)にスロットルが設定されています。

- 1) アップキー/ダウンキーでトリム調整をおこなう
[チャンネル(ST/TH/A1/A2)]を選択します。
- 2) エンターキーで設定するチャンネルを決定して
アップキー/ダウンキーで調整します。

○設定範囲 ST : L100~R100
TH : H100~B100
AUX1 : H100~L100
AUX2 : H100~L100

○初期値 ST : 0
TH : 0
AUX1 : 0
AUX2 : 0

※走行中のトリム調整はTRM1(ST)、TRM2(TH)で調整してください。キーアサイントリム機能でトリムレバーの位置変更が可能です。(P.40)



重要

- トリムについて
トリムとは、サーボのニュートラル(センター)位置を調整する機能です。
ステアリング サーボを車体に搭載後、走行させて直進しない場合にトリムを調整します。
ニュートラル位置の調整は、サーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。
- リンクage調整をするときにセンター位置を調整するのはサブトリムです。(P.16)



- トリムとサブトリムが片側にかたよると、ステアリング ホイールやスロットル トリガーにデッドバンド(サーボが動かない領域)が発生します。サーボにサーボホーンを取り付ける際にできるだけセンターに近い位置で固定してサブトリムでセンター出してください。

アンチ ロック ブレーキ[ALB]

- アンチ ロック ブレーキにより、グリップが低い路面で安定したブレーキングが可能となります。
- ブレーキングが安定するため、狙い通りのコーナリング ラインをトレースすることができます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[ALB]を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると[ALB]設定メニューに切り替ります。

- 3) ストロークの設定(STROKE)
アップキー/ダウンキーでALBのストローク設定をおこないます。
ストロークはブレーキ時の繰り返し動作の幅です。

- 設定範囲 OFF, 0~100%
- 初期値 OFF ※OFFではALBは動作しません。

- 4) ポイントの設定(POINT)
アップキー/ダウンキーでALBのポイント設定をおこないます。
ポイントはブレーキを操作したときにALBが動作を始める位置です。

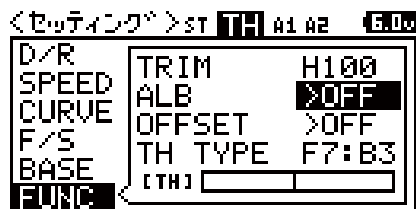
- 設定範囲 5%~100%
- 初期値 80%

- 5) ラグの設定(LAG)
アップキー/ダウンキーでALBのラグ設定をおこないます。
ラグはポイントまで操作してからALBが動作を始めるまでのタイムラグの設定です。

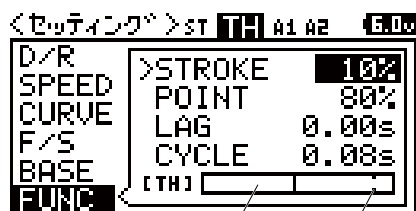
- 設定範囲 0.00s~1.00s
- 初期値 0.00s

- 6) サイクルの設定(CYCLE)
アップキー/ダウンキーでALBのサイクル設定をおこないます。
サイクルはブレーキ時の繰り返し動作の周期設定です。

- 設定範囲 0.01s~1.00s
- 初期値 0.08s



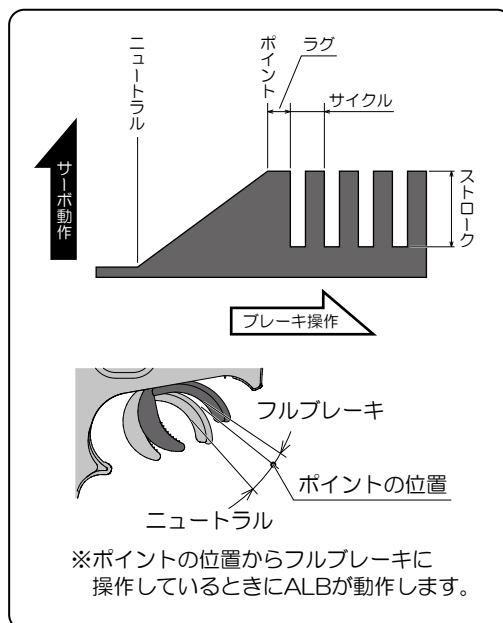
ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



トリガー操作を表示

POINTの位置

[トリガー操作がこの位置より右側 (B側)にある時にALBが動作]



! 補足

- RCカーのタイヤがグリップ力を失わない(すべらない)程度にブレーキを強めに効かせ、タイヤがロックしてすべる寸前にアンチ ロック ブレーキが働くように調整してください。

各機能の使用法

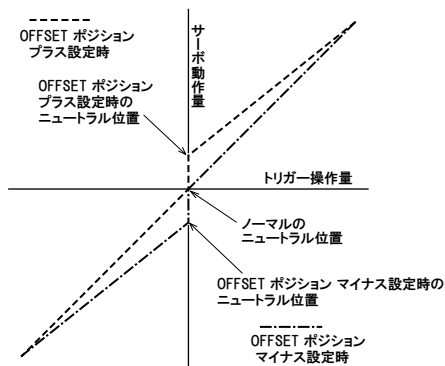
ファンクション [FUNC]

セッティング/SETTING

- ファンクションは各チャンネルのトリムやスロットル チャンネルのALB(アンチ ロック ブレーキ)、OFFSET(オフセット)、TH TYPE(スロットル タイプ)の設定値を調整することが可能です。

オフセット[OFFSET]

- エンジンRCカーのエンジン始動時にスロットル ニュートラルの位置を移動することで、エンジンの始動性が向上します。
- エンジンRCカーの給油時にエンジンが停止しないようにアイドルリングを上げた位置に固定できます。
- 設定したスイッチを操作することでRCポート等のエンジンを停止させることができます。
- オフセット機能で様々なパワーソースに対応できます。
- オフセット機能のON/OFFをスイッチに割り当てて動作させることができます。

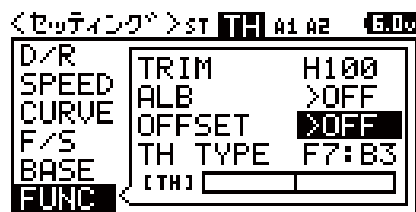


- 1) アップキー/ダウンキーで[OFFSET]を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると[OFFSET]設定メニューに切り替ります。
- 3) オフセットの設定(OFFSET)
アップキー/ダウンキーでオフセット機能のON/OFF設定をおこないます。

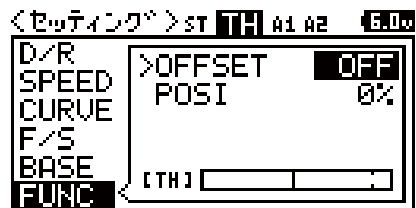
- 設定範囲 ON/OFF
- 初期値 OFF

- 4) ポジションの設定(POS)
- アップキー/ダウンキーでオフセット機能のポジション設定をおこないます。

- 設定範囲 H100%~B100%
- 初期値 0%



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



スロットル タイプ[TH TYPE]

●スロットルのニュートラル位置を移動して、前進側とブレーキ(後進)側の動作比率を7：3か5：5のどちらかに設定できます。

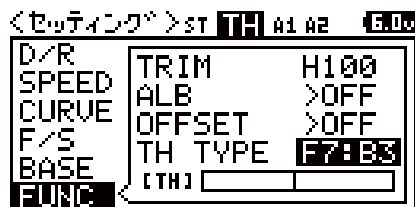
※使用するスピードコントローラー等に合わせてスロットル タイプの設定をおこなってください。

- 1)アップキー/ダウンキーで[TH TYPE]を選択します。
- 2)エンターキーで決定すると[TH TYPE]設定メニューに切り替ります。
- 3)スロットルタイプ設定
アップキー/ダウンキーでスロットル タイプの設定をおこないます。

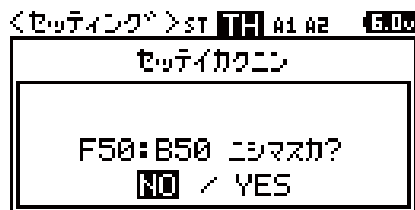
○設定範囲 F7：B3/F5：B5

○初期値 F7：B3

※TH TYPEを変更すると確認画面へ移行して画面上にメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



- NO →スロットル タイプ変更キャンセル
- YES →スロットル タイプ変更確定

各機能の使用法

エーユーエックス

エーユーエックス/AUX

- エーユーエックスはAUX1、AUX2(3ch、4ch)の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵：同位相、逆位相)、MOA(前後別駆動)、
AUX-MIX(AUXミキシング：ST→AUX/TH-AUX)、CODE-AUX(コード通信)から選ぶことができます。

ステップ エーユーエックス[STEP AUX]

- ステップAUX機能の設定により、割り当てたトリムやスイッチの操作により動作量を設定できます。
- 工場出荷時にはAUX機能はステップAUXに設定されています。

- 1) アップキー/ダウンキーで[AUX]を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると[CH]設定メニューに切り替ります。
※アップキー/ダウンキーでCH⇄SETの切り替えになります。

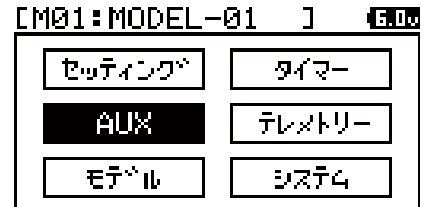
- 3) ステップ エーユーエックスの設定(STEP AUX)
エンターキーで[CH]を決定して、AUX1/AUX2の動作ポジションをアップキー/ダウンキーで設定します。
※動作量はEPA(エンドポイントアジャスト P.18)でも設定可能です。

- 設定範囲 H100%~L100%
- 初期値 0%

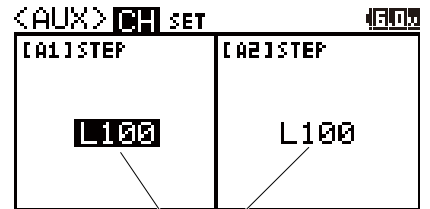
- 4) モードの設定(MODE)
エンターキーで[SET]を決定して、AUX1/AUX2の動作ステップ数を使用法に合わせて設定します。

- 設定範囲 1/2/5/10/20/25/50/100
- 初期値 5

- ※SETではAUXのTYPE設定とMODE設定が可能で、キーアサイン機能(P.39)へのショートカットがあります。
- ※使用法にあわせてキーアサインで機能を割り当ててください。出荷時にはSW3にAUX2の機能が割り当てられています。



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



AUX1設定画面

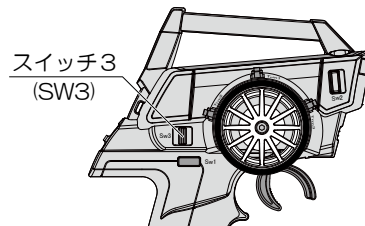
AUX2設定画面

動作ポジション表示



ステップ設定

キーアサインへのショートカット



ポイント エー ユー エックス[POINT AUX]

●ポイントAUXを設定することで、AUX1/AUX2(3ch/4ch)の動作をスイッチ3やトリムに割り当てることでポイント1、ポイント2、ポイント3のポジションハサーボを動作させることができます。
動作したポイントはEPA(エンドポイントアジャスト)で設定できますので、使用方法にあわせてポイント位置を調整してください。

※ポイント数は3ポイント固定になります。

1)アップキー/ダウンキーで[AUX]を選択します。

2)エンターキーで決定して[SET]設定メニューに切り替えます。

3)タイプの設定(POINT)

アップキー/ダウンキーでエー ユー エックス タイプの設定で[POINT]を選択します。

○設定範囲 STEP/POINT/4WS/MOA/AUX MIX/CODE

○初期値 STEP

4)ポイントとポイント設定値の調整

A1/A2設定する設定値にカーソルをあわせませす。

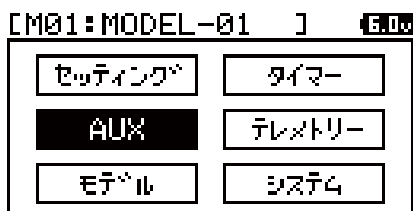
エンターするとアップキー/ダウンキーでポイントを選択します。設定するポイントでエンターするとそのポイントの設定値を調整できます。

○設定範囲 L100~H100

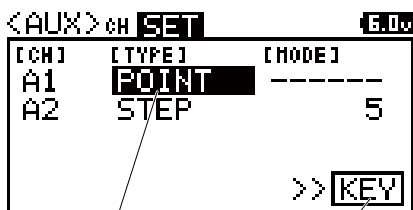
※AUX1/AUX2(3ch/4ch)それぞれのエー ユー エックス タイプの設定が可能です。

※それぞれのポイントでの動作量はEPA(エンドポイントアジャストP.18)でも設定可能です。

※使用方法にあわせてキーアサインでSW3やトリムに機能を割り当ててください。

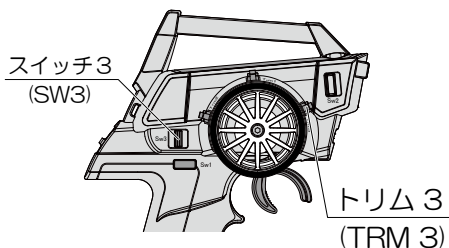
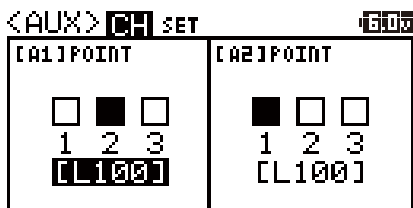


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



タイプ切り替え

キーアサインへのショートカット



各機能の使用法

エーユーエックス

エーユーエックス/AUX

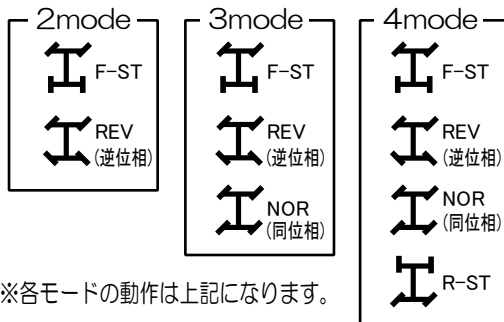
- エーユーエックスはAUX1、AUX2(3ch、4ch)の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵：同位相、逆位相)、MOA(前後別駆動)、
AUX-MIX(AUXミキシング：ST→AUX/TH-AUX)、CODE-AUX(コード通信)から選ぶことができます。

4 ホイール ステアリング(4輪操舵：同位相/逆位相)[4WS]

- 割り当てたトリムやスイッチの操作により4ホイールステアリング(4輪操舵)の動作を制御します。

- 1) アップキー/ダウンキーで[AUX]を選択します。
- 2) エンターキーで決定して[SET]設定メニューに切り替えます。
- 3) タイプの設定(4WS)
アップキー/ダウンキーでエーユーエックス タイプの設定で[4WS]を選択します。
- 4) モードの設定
4WSの動作モードを設定します。
使用方法にあわせて動作モードを設定してください。

- 設定範囲 2mode/3mode/4mode
- 初期値 4mode



※各モードの動作は上記になります。

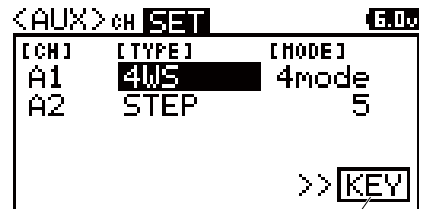
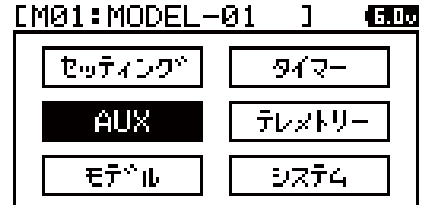
- 5) 動作モードの設定
動作モードの設定でエンターしてアップキー/ダウンキーで動作モードを切り替えます。

※走行しながら使用する場合にはトリムかスイッチに動作モードの機能を割り当てて使用してください。

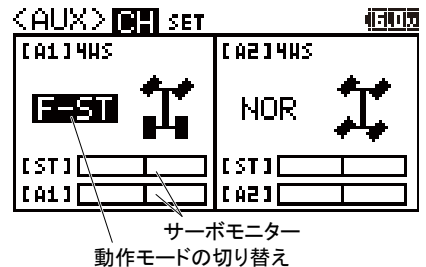
- 設定範囲 F-ST/REV/NOR/R-ST

※SETで設定したモードの設定によって動作モードが切り替わります。

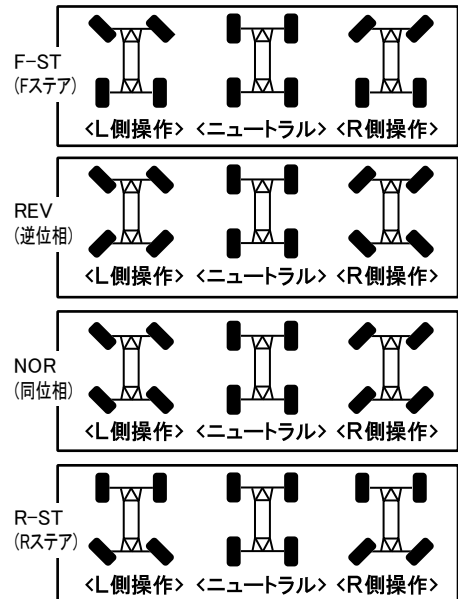
※リアステアリングサーボはTYPEを4WSに設定したチャンネル(AUX1/AUX2)が動作します。
動作量はEPA(エンドポイントアジャスト P.18)で設定してください。



キーサインへのショートカット



[ステアリング動作イメージ]



各機能の使用法

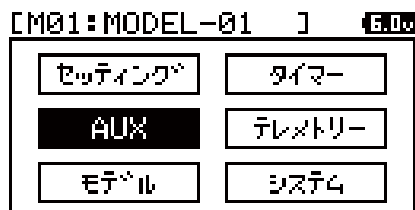
モーター オン アクスル[MOA] (前後別駆動)

●モーター オン アクスル(MOA)を設定することで前後2モーター仕様の車体で前後の駆動比を調整することができます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[AUX]を選択します。
- 2) エンターキーで決定して[SET]設定メニューに切り替えます。
- 3) タイプの設定(MOA)
アップキー/ダウンキーでエーユーエックスタイプの設定で[MOA]を選択します。
- 4) モードの設定
MOAの前後駆動配分を調整するステップを設定します。
使用方法にあわせてステップを設定してください。

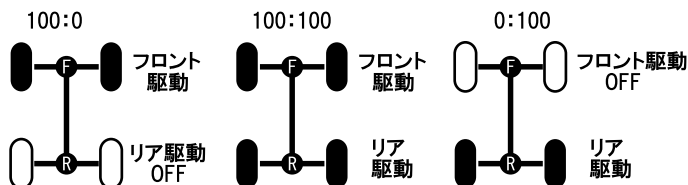
- 設定範囲 1/2/5/10/20/25/50/100
- 初期値 10

※リアモーターを制御するスピードコントローラーはTYPEをMOAに設定したチャンネル(AUX1/AUX2)に接続してください。
※使用方法にあわせてキーアサインでトリムやスイッチにステップの機能を割り当てるか、アップキー/ダウンキーで操作をおこなってください。

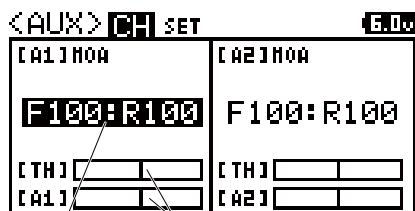


タイプ切り替え
ステップ設定
キーアサインへのショートカット

[MOA動作イメージ]



※比率を変更することで前後の駆動比を調整できます。



サーボモニター
前後駆動比

各機能の使用法

エーユーエックス

エーユーエックス/AUX

- エーユーエックスはAUX1、AUX2(3ch、4ch)の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵：同位相、逆位相)、MOA(前後別駆動)、
AUX-MIX(AUXミキシング：ST→AUX/TH-AUX)、CODE-AUX(コード通信)から選ぶことができます。

エーユーエックス ミキシング[AUX-MIX]

- エーユーエックス ミキシングを設定することでステアリングからAUXに、スロットルからAUXにミキシングをかけることができます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[AUX]を選択します。
- 2) エンターキーで決定して[SET]設定メニューに切り替えます。
- 3) タイプの設定(AUX-MIX)
アップキー/ダウンキーでエーユーエックス タイプの設定で[AUX-MIX]を選択します。
- 4) モードの設定
ミキシングの動作モードを設定します。
使用方法にあわせて動作モードを設定してください。

○設定範囲 ST-mix/TH-mix

○初期値 ST-mix

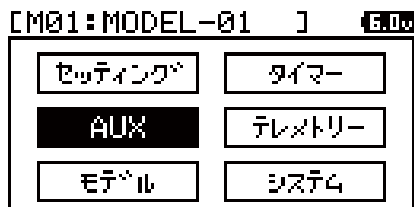
- ※ST-mixはステアリングからAUXにミキシングがかり、TH-mixはスロットルからAUXにミキシングがかります。

- 5) ミキシング レートの設定
ミキシング設定画面でエンターしてアップキー/ダウンキーでミキシング レートを設定します。

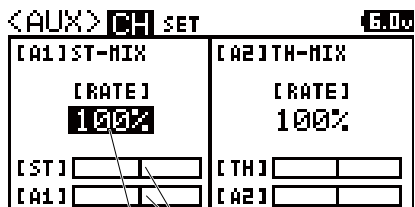
○設定範囲 0~100%

○初期値 100%

- ※使用方法にあわせてキーアサインでトリムやスイッチにミキシング レートの機能を割り当てるか、アップキー/ダウンキーで操作をおこなってください。



キーアサインへの
ショートカット



サーボモニター
ミキシング レートの設定

コード エー ユー エックス[CODE AUX]

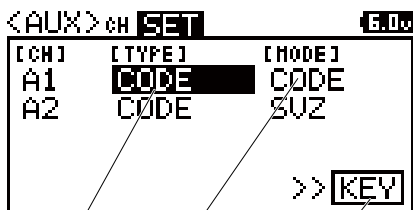
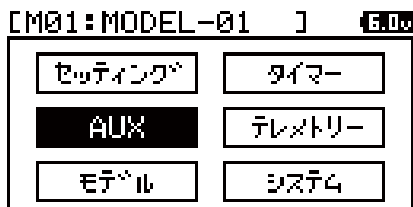
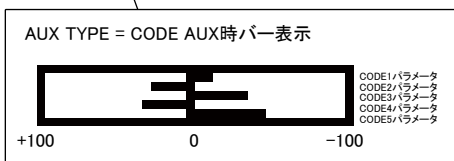
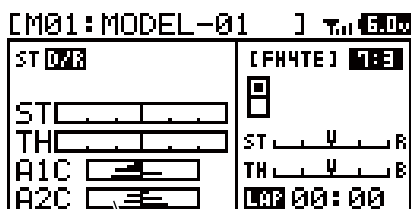
- コード エー ユー エックス(CODE AUX)の機能はCODE1~CODE5に設定値を割り当てることでコード通信をおこなう機能です。
CODE AUXに対応するスピードコントローラー(SUPER VORTEXシリーズやSV-PLUSシリーズ)やジャイロ システム(SGS-01C/SGS-01D)などの設定を変更するための拡張機能です。
- コードAUX1とコードAUX2の2系統の設定が可能です。
※AUXチャンネルをコードAUXとして使用する場合には、BIND設定のA1/A2のレスポンスモードは必ず[SHR]に設定してください。(P.37参照)
※コードAUXを使用している場合には対応する受信機のCH3、CH4には絶対にサーボを接続しないでください。
※使用する際はキーアサインでトリムかSW3に機能を割り当てるか、アップキー/ダウンキーで操作をおこなってください。

- 1)アップキー/ダウンキーで[AUX]を選択します。
- 2)エンターキーで決定して[SET]設定メニューに切り替えます。
- 3)タイプの設定(CODE AUX)
アップキー/ダウンキーでエー ユー エックス タイプの設定で[CODE]を選択します。
- 4)モードの設定
モードの設定を使用する機器に合わせて設定することでコードAUXの機能表示が機器の設定にあわせた表示に切り替ります。
使用機器にあわせてモードを設定してください。

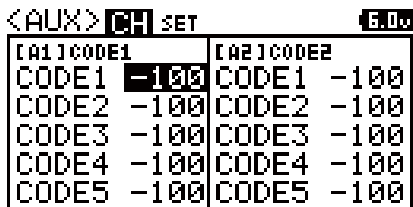
- 設定範囲 CODE/SVZ/SVD
- 初期値 CODE

- 5)コードAUXの設定
設定画面でエンターして設定変更するコードAUXを選択してアップキー/ダウンキーで設定値を調整してください。

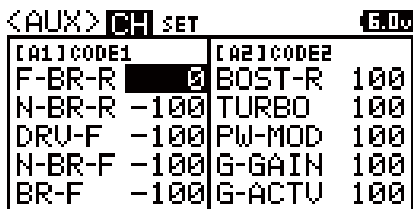
※AUX TYPEがCODEに設定されている場合に
トップ画面でのサーボモニター表示部が
CODE AUXの設定状態が下記のように
表示されます。



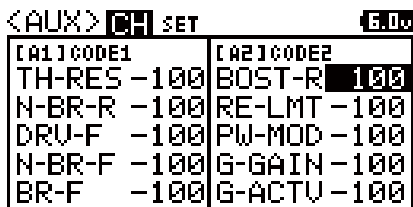
タイプ切り替え
モード設定
キーアサインへのショートカット



MODE設定が[CODE]の場合



MODE設定が[SVZ]の場合



MODE設定が[SVD]の場合

各機能の使用法

モデルメニュー

モデル/MODEL

- モデル セレクト、モデル ネーム、モデル コピー、モデル クリアについての機能が設定できます。
- 大容量EEPROMを内蔵しており、M01～M20の20モデル分のデータを記憶することができます。

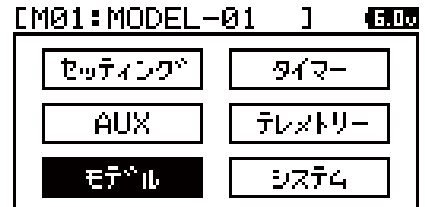
モデル セレクト[MODEL SELECT]

- 記憶されているM01～M20のモデル データを簡単に呼び出すことができます。

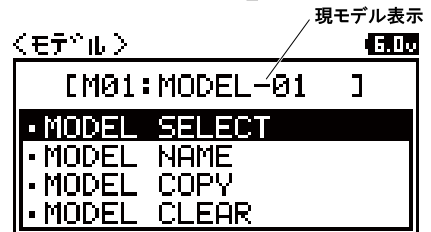
- 1) アップキー/ダウンキーで[モデル]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル セレクトの設定(MODEL SELECT) アップキー/ダウンキーで[モデル セレクト]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) モデルの選択 アップキー/ダウンキーで呼び出したいモデルを選択します。

○設定範囲 M01～M20

- 4) 呼び出すモデルにカーソルを移動し、エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してモデルセレクトをおこなってください。

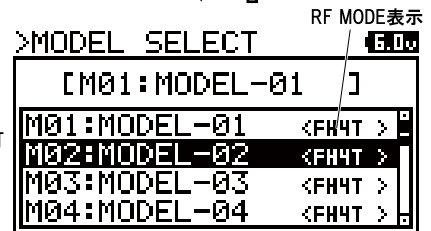


ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



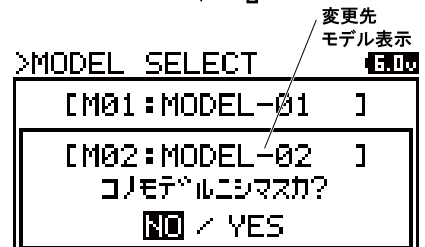
①モデル 画面

ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



②MODEL SELECT 画面

ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



③ 確認画面

- ・NO →②に戻る
- ・YES→モデルを変更し②に戻る

補足

- MT-Sはダイレクト モデル セレクトの機能を装備しています。バック/キャンセル ボタンを押しながら送信機のパワースイッチをONすると、MODEL SELECT画面からスタートしますので使用するモデルを簡単に呼び出すことができます。

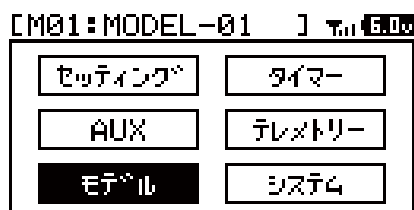
モデル ネーム[MODEL NAME]

●各モデルにアルファベット、数字、カナ、記号を10文字までモデル ネームを登録できます。

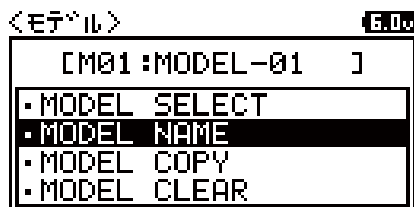
- 1) アップキー/ダウンキーで[モデル]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル ネームの設定(MODEL NAME)
アップキー/ダウンキーで[モデル ネーム]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) モデル ネームの設定
アップキー/ダウンキーでカーソル“_”を文字入力する位置に移動します。位置が決定したらエンターキーを押してカーソル位置を決定します。
- 4) アップキー/ダウンキーで入力する文字を選択します。
入力する文字が決定したらエンターキーで入力します。
※選択した文字を変更する場合や文字入力位置のカーソルを移動する場合はバックボタンを押して動作をキャンセルしてください。

○設定範囲 A~Z, a~z, 0~9, ア~ン、ア~ツ、記号、スペース

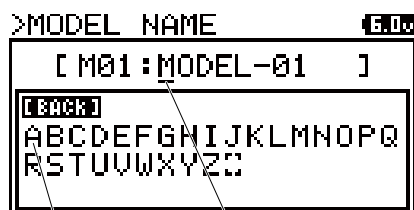
- 5) 3)、4)を繰り返して文字を入力します。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

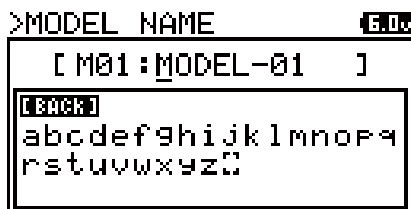


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

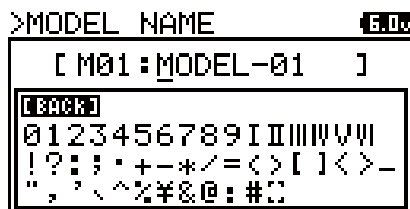


入力文字選択カーソル
文字位置カーソル(カーソル移動時は点滅)

アルファベット小文字



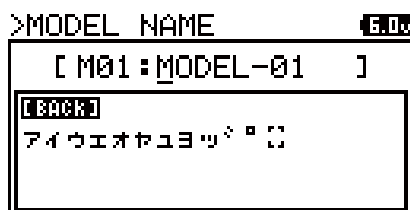
数字、記号



カタカナ



カタカナ小文字



各機能の使用法

モデルメニュー

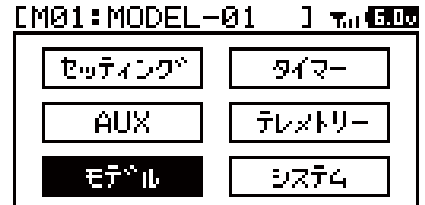
モデル/MODEL

- モデル セレクト、モデル ネーム、モデル コピー、モデル クリアについての機能が設定できます。
- 大容量EEPROMを内蔵しており、M01～M20の20モデル分のデータを記憶することができます。

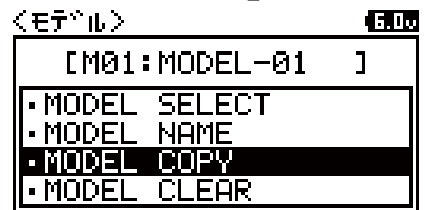
モデル コピー [MODEL COPY]

- 選択しているモデルのデータを他のモデルにコピーすることができます。

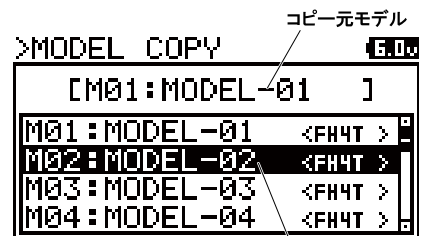
- 1) アップキー/ダウンキーで [モデル] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル コピーの設定 (MODEL COPY) アップキー/ダウンキーで [モデル コピー] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) コピー先モデルの選択
アップキー/ダウンキーでコピー先モデルを選択します。
※コピー元モデルはモデル セレクトされているモデル データになります。
- 4) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してモデル コピーをおこなってください。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

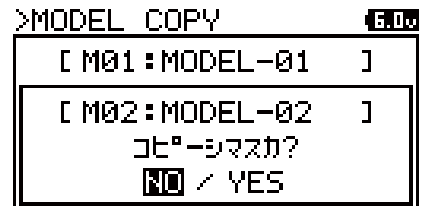


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



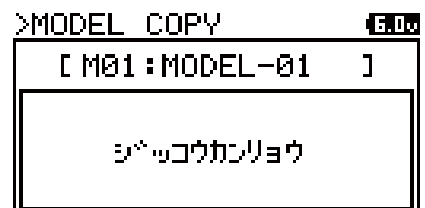
①コピー先選択

コピー先モデル



②コピー確認画面

・NO →①に戻る
・YES→③に移行
(コピー実行)



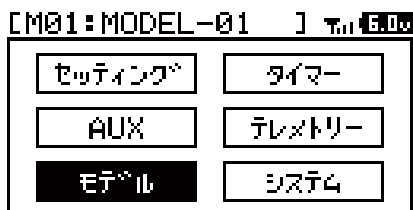
③コピー中

・コピー後①に戻る

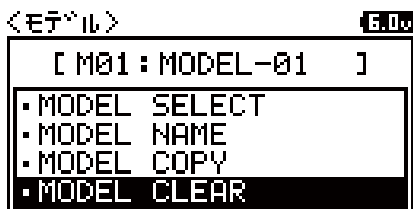
モデル クリア[MODEL CLEAR]

● 選択しているモデルの設定データをクリア(初期化)する機能です。

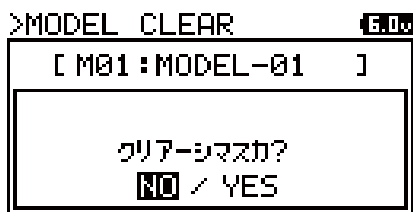
- 1) アップキー/ダウンキーで[モデル]を選択し、
エンターキーで決定します。
- 2) モデル クリアの設定(MODEL CLEAR)
アップキー/ダウンキーで[モデル クリア]を
選択してエンターキーで決定します。
- 3) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが
表示されますので、表示にしたがってモデル クリア
をおこなってください。



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



①確認画面

・NO →MODEL画面に戻る
・YES→クリアー実行 ②へ



②クリア処理中

2回点滅表示後
<モデル>画面に戻る

各機能の使用法

タイマーメニュー

タイマー/TIMER

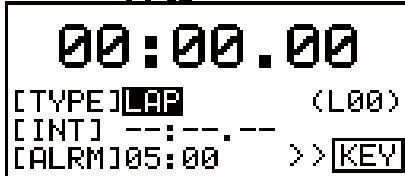
- ラップ タイマー、インターバル タイマー、ダウン タイマーの3つのタイマー機能を備えています。
- タイマーを選択するとSET画面に移行して、SET画面でアップキー/ダウンキーを操作するとSET画面とLAP画面の表示が切り替わります。

[M01:MODEL-01] 6.00



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

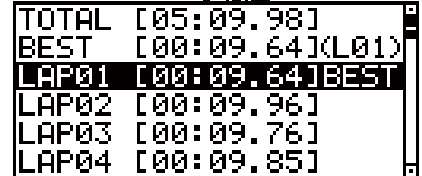
<タイマー> SET LAP 6.00



<SET画面>

↔
アップキー
ダウンキー

<タイマー> SET LAP 6.00



<LAP画面>

- LAP画面で計測したラップタイムを確認することができます。
 - ラップタイマーが停止している状態でアップキー/ダウンキーを操作してラップを選択します。
- ※計測したラップタイムの中でのベストタイムには[BEST]と表示されます。

ラップ タイマー[LAP TIMER]

- 99周までの各ラップ計測、記録ができます。(モデル共通)
- プリアラーム(PRE-ALM)を搭載しており、ゴール前に鳴るアラームの時間を自由に設定できます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[タイマー]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) タイプの設定(TYPE)
アップキー/ダウンキーでTYPEの設定を[LAP]に設定してエンターキーで決定します。
- 3) ゴール タイムの設定
アップキー/ダウンキーでゴール タイム(ALRM)を設定します。
○設定範囲 00:01~99:59
00:01単位
○初期値 05:00
- 4) タイマーのスイッチは初期値でSW1に設定されています。
SW1を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、再度SW1を押すかスロットルトリガーを操作すると計測がスタートします。
- 5) SW1を押すたびにラップタイムが計測されます。
SW1を押してから3秒間はスイッチが働きます。
- 6) 計測終了
SW1を長押しすると計測が終了します。

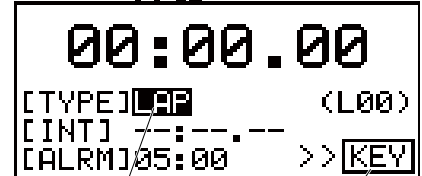
- ※タイマーを動作させた状態でパワースイッチをOFFにするとタイマーがリセットされます。(LAPのデータは残ります。)
- ※SW1にタイマーが設定されている場合には、タイマー設定画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。

[M01:MODEL-01] 6.00



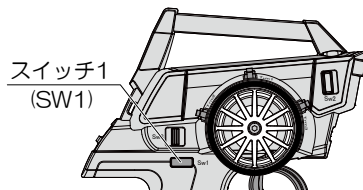
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

<タイマー> SET LAP 6.00



タイプ切り替え

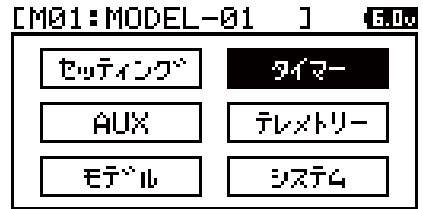
キーアサインへの
ショートカット



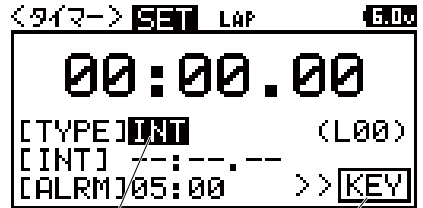
インターバル タイマー[INT TIMER]

●走行時に設定したタイムでアラームを鳴らし、目標タイムの目安とします。

- 1) アップキー/ダウンキーで[タイマー]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) タイプの設定(TYPE)
アップキー/ダウンキーでTYPEの設定を [INT] に設定してエンターキーで決定します。
- 3) インターバル タイマーの設定値を調整します。
 - 設定範囲 00 : 00, 01s~99 : 59, 99
 - 初期値 00 : 00, 00※00 : 00, 00ではインターバル タイマーは動作しません。
- 4) タイマーのスイッチは初期値でSW1に設定されています。
SW1を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、再度SW1を押すかスロットル トリガーを操作すると計測がスタートします。
- 5) SW1を押すたびにインターバル タイマーがリセットされます。
- 6) 計測終了
SW1を長押しすると計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチをOFFにするとタイマーがリセットされます。
※SW1にタイマーが設定されている場合には、タイマー設定画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



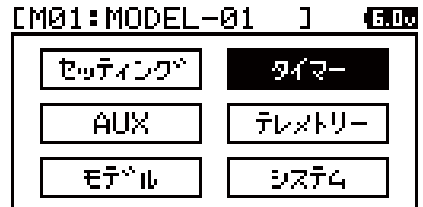
タイプ切り替え

キーアサインへのショートカット

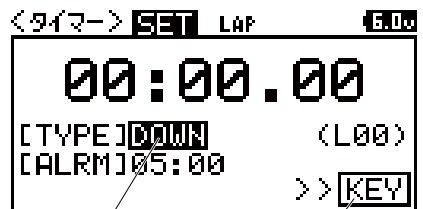
ダウン タイマー[DOWN TIMER]

- 電動RCカーの走行時間やエンジンRCカーでの燃費計算の目安になります。
- 99 : 59まで1秒単位で設定できます。
- ダウン タイマー終了後にアップ タイマーに切り替わり、終了後の経過時間が確認できます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[タイマー]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) タイプの設定(TYPE)
アップキー/ダウンキーでTYPEの設定を [DOWN] に設定してエンターキーで決定します。
- 3) インターバル タイマーの設定値を調整します。
 - 設定範囲 00 : 01~99 : 59
 - 初期値 05 : 00※00 : 00ではアップ タイマーとして動作します。
- 4) タイマーのスイッチは初期値でSW1に設定されています。
SW1を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、再度SW1を押すかスロットル トリガーを操作すると計測がスタートします。
- 5) SW1を押すとダウン タイマーがストップします。
再度SW1を押すと再スタートします。
- 6) 計測終了
SW1を長押しすると計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチをOFFにするとタイマーがリセットされます。
※SW1にタイマーが設定されている場合には、タイマー設定画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



タイプ切り替え

キーアサインへのショートカット

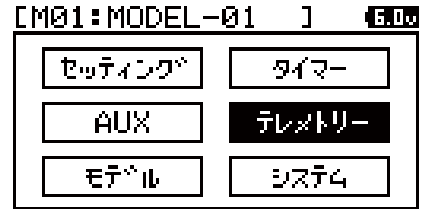
各機能の使用法

テレメトリーメニュー

テレメトリー/TELEMETRY

- テレメトリーに関連するLOGGER、ALERT SETTING、TELEMETRY SETTINGを設定するメニューです。
- テレメトリー機能を使用する場合には、対応する受信機やセンサー類、SUPER VORTEXシリーズやSV-PLUSシリーズを使用することで対応可能になります。
- テレメトリーでは温度2系統、バッテリー電圧、回転数のデータが送信機で確認できます。

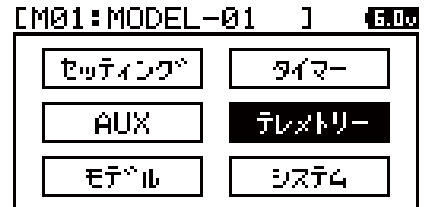
- ・LOGGER：温度2系統、電圧、回転数のデータが確認できます。
- ・ALERT SETTING：設定した温度や電圧でアラームを鳴らすことで機器の破損を未然に防ぎます。
- ・TELEMETRY SETTING：テレメトリー機能の各種設定



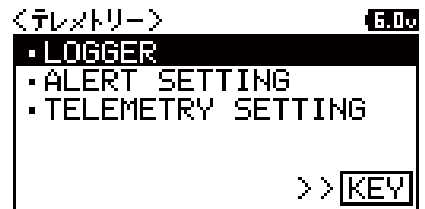
ロガー[LOGGER]

- SUPER VORTEX/SV-PLUSシリーズや車体に搭載したセンサーにより、バッテリーやエンジン、モーターなどの温度2系統(T1/T2)、走行用バッテリーや受信機に入力される電圧(VOLT)、エンジンやモーターなどの回転数(RPM)のデータを送信機にログ(記録)することができます。
 - ログ(記録)の設定はP.36のTELEMETRY SETTING(テレメトリーの設定)のLOG STEPでおこない、設定できるログ(記録)の間隔は0.1~45.9秒です。
 - ログ(記録)は120STEP可能です。(最長約12秒~最長約90分)
 - ロガー(LOGGER)の動作スタートは[LOGGER]の各機能画面(T1/T2/VOLT/RPM)でエンター長押しするか、キーアサインで設定したスイッチでおこないます。
- ※送信機のパワースイッチをOFFにするとログデータは消えてしまいますので、パワースイッチをOFFにする前にログデータを確認してください。

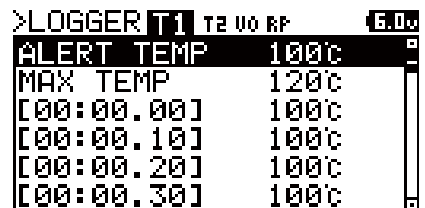
- 1) アップキー/ダウンキーで[テレメトリー]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[LOGGER]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) アップキー/ダウンキーで表示させるデータ [T1/T2/VOLT(VO)/RPM(RP)]を選択してエンターキーで決定します。
アップキー/ダウンキーでログデータを確認します。



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



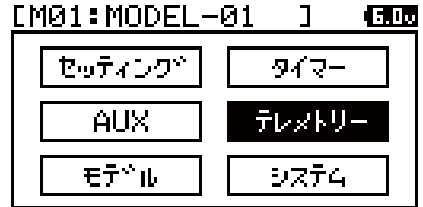
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



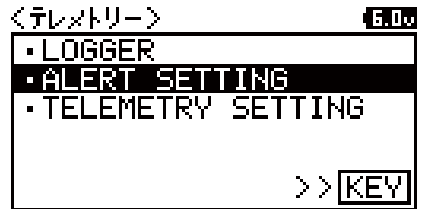
アラート セッティング[ALERT SETTING]

●テレメトリー データにあわせて、設定した温度や電圧でアラームが鳴り、青色LEDが点滅します。

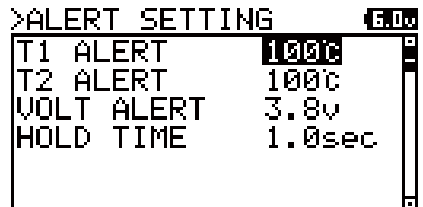
- 1) アップキー/ダウンキーで[テレメトリー]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) T1 ALERTの設定(温度センサー1のアラーム設定)
アップキー/ダウンキーで[T1 ALERT]を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 20~120℃
○初期値 100℃
- 3) T2 ALERTの設定(温度センサー2のアラーム設定)
アップキー/ダウンキーで[T2 ALERT]を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 20~120℃
○初期値 100℃
- 4) VOLT ALERT(設定した電圧でのアラーム設定)
アップキー/ダウンキーで[VOLT ALERT]を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 3.0~9.0V
○初期値 3.8V
- 5) ホールド タイムの設定(HOLD TIME)
※アクセル操作による瞬間的な電圧変動でアラーム動作が不安定にならないようにする設定です。
○設定範囲 0.0~5.0sec
○初期設定 1.0sec



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

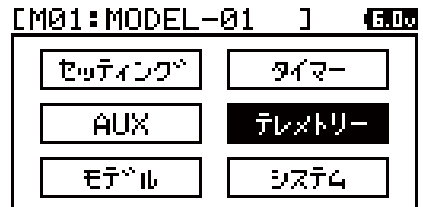


ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

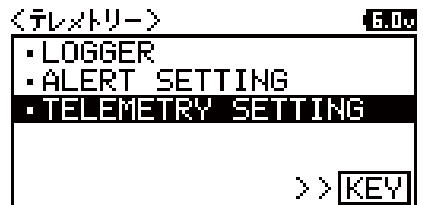


テレメトリー セッティング[TELEMETRY SETTING]

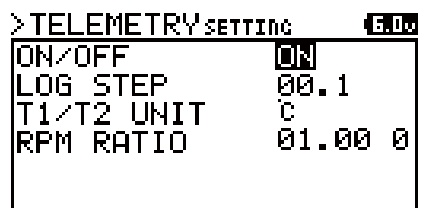
- テレメトリー各機能の設定をおこないます。
- 1) アップキー/ダウンキーで[テレメトリー]を選択し、エンターキーで決定します。
 - 2) テレメトリーのON/OFF設定
アップキー/ダウンキーで[ON/OFF]を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 ON/OFF
○初期値 ON
 - 3) ログ ステップの設定(記録するログ データの間隔設定)
アップキー/ダウンキーで[LOG STEP]を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 00.1~45.9s
○初期値 00.1s
 - 4) T1/T2 UNIT(温度センサーの単位設定)
アップキー/ダウンキーで[T1/T2 UNIT]を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 °C/°F
○初期値 °C
 - 5) RPM RATIOの設定(レシオの設定)
※回転センサーを減速された位置に設置した場合に、レシオの設定をおこなうことで、モーターやエンジンの回転数を逆算して表示させることができます。
○設定範囲 00.001~64.999
○初期設定 01.000



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



各機能の使用法

システム メニュー

システム/SYSTEM

●バインド(BIND)、キー アサイン(KEY ASSING)、BUZZER(ブザー)、バッテリー(BATTERY)、LCD(エル シー ディー)、VR ADJUST(ボリューム アジャスト)など、送信機のシステム設定をおこなう機能です。

バインド[BIND]

●使用する受信機にあわせた出力方式の選択や、使用するサーボ(アナログ/デジタル)やスピードコントローラーにあわせてモードの設定や送信機と受信機のバインドをおこないます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[BIND]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) RF MODEの設定(RF MODE: 電波の出力方式)
アップキー/ダウンキーで出力方式を設定します。

○出力方式

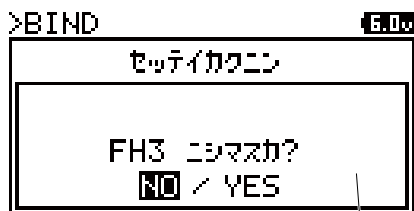
・FH4T

RX-482, RX-481, RX-472, RX-471, RX-462,
RX-461, SV-PLUSシリーズ用モード

・FH3

RX-451R, RX-451, RX-381, RX-380用モード

○初期値 FH4T



確認画面

※出力方式を変更すると画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してください。

- 4) チャンネル モードの設定

アップキー/ダウンキーで各チャンネルのレスポンス モードを設定します。

・レスポンス モードはチャンネルごとに設定できます。

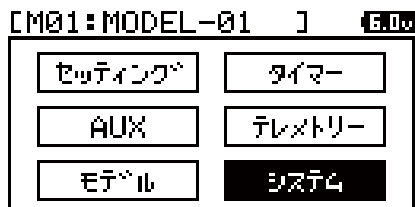
○設定範囲 NOR(ノーマル)

SHR(ハイレスポンス)

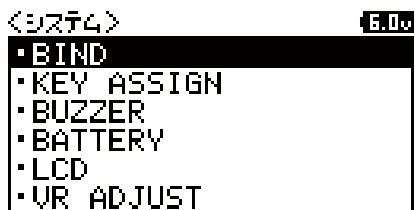
SSR(スーパーレスポンス)

○初期値 NOR

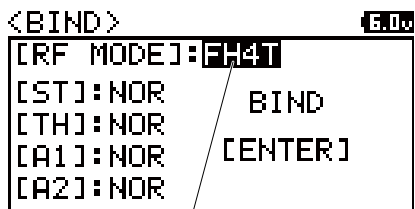
※SSRのレスポンス モードはFH4T設定時のみ表示されます。



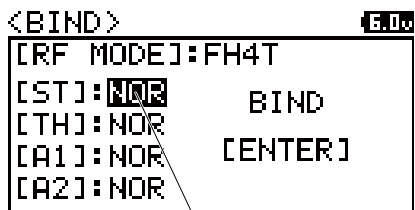
ENTER(エンター)↓ ↑BACK(バック)



ENTER(エンター)↓ ↑BACK(バック)



出力方式



レスポンス モード

重要

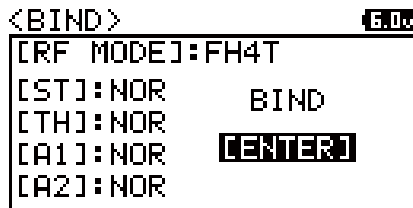
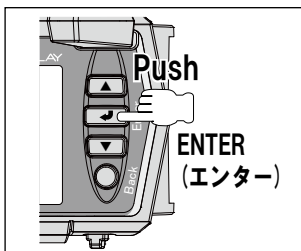
- SHR/SSRモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。
誤ってSHR/SSRモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR/SSRモードでアナログサーボを使用しないでください。
デジタルサーボ(SRG, ERB, ERSシリーズ, Digital ERGシリーズ)の場合はNOR/SHRモードのどちらでも動作します。
- SSRモードはSRGサーボ, SUPER VORTEX/SV-PLUSシリーズ, HV-12 STOCK SPECIAL, HV-01のみ動作します。
- MT-SはRX-451Rを使用してSHRの表示でBINDしてもSSRモードにはなりません。表示通りの動作になります。
- SHR/SSRモードではBL-RACER, BL-FORCE, F2000, F2200, F3000, F3300, SBL-01, 02, 03CLは動作しません。必ずNORモードでご使用ください。
- SV-08, HV-10, HV-12, F2500はNOR/SHRモードで動作します。

5) BIND(バインド)の設定

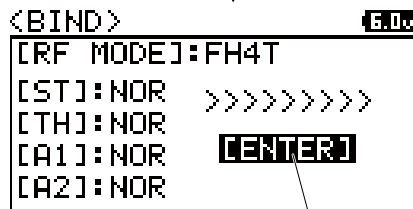
●BIND(バインド)とは：MT-S送信機はそれぞれ固有のID(個体識別)番号をもって、そのID番号を受信機に記憶させることです。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しません。

1] BIND(バインド)メニュー内の設定が終了したら
アップキー/ダウンキー/エンターキーにより
BIND設定をおこないます。

2] BINDメニュー内の[ENTER]にカーソルを移動して
エンター操作すると送信機がBIND(バインド)動作になります。

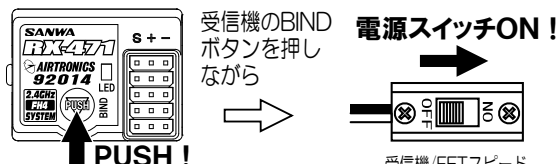


ENTER (エンター) ↓



点滅

3] 受信機のBINDボタンを押しながら、受信機の電源スイッチをONします。



注) 上記の受信機には配線が接続されていませんが、BINDする際には、サーボやFETスピードコントローラー(モーターは除く)、バッテリーを接続した状態でおこなってください。

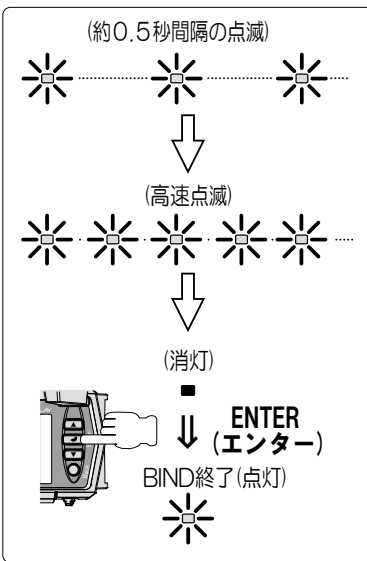
受信機/FETスピードコントローラーの電源スイッチをONします。

4] BIND(バインド)が正しくおこなわれると、受信機のLEDがゆっくりとした点滅から高速点滅になりLEDが消灯します。受信機のLEDが消灯したら送信機のエンターキーを操作して送信機のBIND動作を終了させてください。

BINDが正しくおこなわれると受信機LEDが点灯します。受信機LEDが点灯したらサーボ等を動作させてBINDが終了したことを確認してください。

※BIND(バインド)が正しくおこなえない場合には、2]の作業からやりなおしてください。

受信機LEDの状態



⚠ 注意

- 出荷時にはBINDされていません。ご使用になる前に必ずBINDをおこなってください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でBINDをおこなってください。
- 必ずBINDした送信機と受信機のセットでお使いください。
- RX-451、RX-451RをBINDする場合はRF MODE(出力方式)の設定をFH3に設定してBINDしてください。
- 受信機の種類とMODULATIONの設定を間違えるとBIND設定をおこなえませんので、ご注意ください。
- BINDしたあとにBINDメニュー内の設定を変更した場合は再度BINDをおこなってください。
- RX-481とRX-471はFH4T、FH3のどちらでも動作しますが受信機本来の性能を発揮させるため、FH4Tで使用してください。
- BIND(バインド)してからチャンネルのモード設定(NOR/SHR/SSR)の設定を変更した場合には再度BIND(バインド)をおこなってください。再バインドしないと設定変更が反映されません。

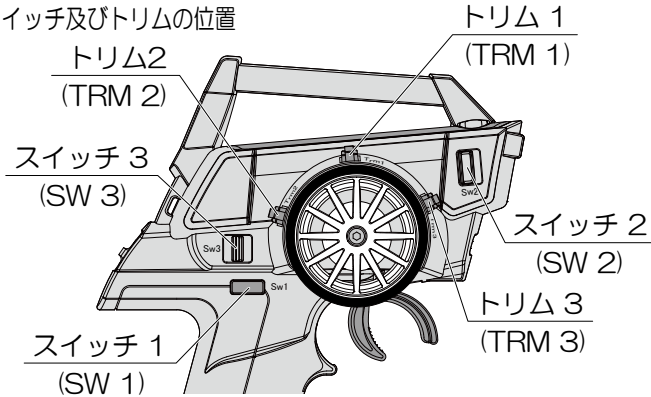
各機能の使用法

システム メニュー

システム/SYSTEM

●バインド(BIND)、キー アサイン(KEY ASSING)、BUZZER(ブザー)、バッテリー(BATTERY)、LCD(エル シー ディー)、VR ADJUST(ボリューム アジャスト)など、送信機のシステム設定をおこなう機能です。

スイッチ及びトリムの位置



工場出荷時にスイッチとトリムに割り当てられている機能

TR1 : ステアリング トリム(TRM-ST)
TR2 : スロットル トリム(TRM-TH)
TR3 : デュアルレート ST(D/R-ST)
SW1 : タイマー(TIMER)
SW2 : AUX1
SW3 : AUX2

キー アサイン スイッチ[KEY ASSIGN SW]

●送信機のスイッチ(SW1, SW2, SW3)に機能を割り当てることができ、走行中に機能のON/OFF、ができます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[KEY ASSIGN]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) スイッチの設定(SW1/SW2/SW3)
[SW]でエンター操作をおこない、スイッチに割り当てる機能をアップキー/ダウンキーで設定します。

○設定範囲

スイッチ	割り当て可能な機能
SW1	OFF, ASIST-ST, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CUR-ST, CUR-TH, SPD-ST, SPD-TH, ALB, OFFSET, AUX1, AUX2, TIMER, TE-CLR, LOGGER

スイッチ	割り当て可能な機能
SW2	OFF, ASIST-ST, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CUR-ST, CUR-TH, SPD-ST, SPD-TH, ALB, OFFSET, AUX1, AUX2

スイッチ	割り当て可能な機能
SW3	OFF, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, SP-ST-F, SP-ST-R, CU-R-ST, CU-R-TH, CU-R-BR, SP-TH-F, SP-TH-R, ALB-ST, ALB-LG, ALB-CY, OFFSET, AUX1, AUX1(CODE1), AUX1(CODE2), AUX1(CODE3), AUX1(CODE4), AUX1(CODE5), AUX2, AUX2(CODE1), AUX2(CODE2), AUX2(CODE3), AUX2(CODE4), AUX2(CODE5)

○初期値 SW1 : TIMER SW2 : AUX1 SW3 : AUX2

※SW2に[ASIST-ST]を設定することでステアリングに設定できるD/R, SPEED, CURVEの機能をON/OFFすることが可能です。

4) モードの設定

スイッチの動作を設定しますが割り当てる機能によっては設定出来ない場合があります。

○設定範囲 TOGGLE(押すたびにON/OFF切り替え)
PUSH(押し続けているあいだのみON)

[M01:MODEL-01] 6.00



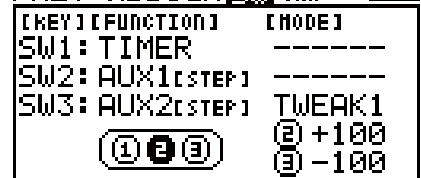
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

<システム> 6.00



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

>KEY ASSIGN SW TRM 6.00



SW3のMODE設定について

	①	②	③
TWEAK1	ニュートラル	P1	P2
TWEAK2	P1	ニュートラル	P2

P1/P2のポジションも自由に変更可能です。

キー アサイントリム[KEY ASSIGN TRIM]

- 各機能の設定値をトリム1～トリム3で変更できます。
- STEPの設定で1回のトリム操作での変化幅の設定とREVの設定で動作方向も変更できます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、
エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[KEY ASSIGN]を選択して
エンターキーで決定します。
- 3) トリムの設定(TRM1/TRM2/TRM3)
[TRM]でエンター操作をおこない、トリムに割り当てる
機能をアップキー/ダウンキーで設定します。

○設定範囲

トリム	割り当て可能な機能
TRIM1	OFF, TRIM-ST, TRM-TH, TRIM-A1, TRIM-A2, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CU-R-ST, CU-R-TH, CU-R-BR, SP-ST-F, SP-ST-R, SP-TH-F, SP-TH-R, ALB-PO, ALB-ST, ALB-LG, ALB-CY, OFFSET, AUX1, AUX1(CODE1), AUX1(CODE2), AUX1(CODE3), AUX1(CODE4), AUX1(CODE5), AUX2, AUX2(CODE1), AUX2(CODE2), AUX2(CODE3), AUX2(CODE4), AUX2(CODE5)
TRIM2	
TRIM3	

○初期値 TR1 : TRM-ST
TR2 : TRM-TH
TR3 : D/R-ST

- 4) ステップの設定(STEP)
1回のトリム操作で動作する変化量を設定します。
アップキー/ダウンキーで[STEP]を選択してエンターキーで
決定して変化量を設定します。

○設定範囲 1～100
○初期値 5

- 5) 動作方向の設定
トリムを操作した際の動作方向の設定をします。
アップキー/ダウンキーで[REV]を選択してエンターキーで
決定して動作方向を設定します。

○設定範囲 NOR/REV
○初期値 NOR

○初期設定 TRIM-1 : ステアリング トリム(TRM-ST)
TRIM-2 : スロットル トリム(TRM-TH)
TRIM-3 : ステアリング デュアル レート(D/R-ST)

```
>KEY ASSIGN sw TRM 6.00
[KEY][FUNCTION] [STEP][REV]
TR1: TRM-ST      5 NOR
TR2: TRM-TH      5 NOR
TR3: D/R-ST      1 NOR
```

各機能の使用法

システム メニュー

システム/SYSTEM

ブザー[BUZZER]

- キー操作やトリム、スイッチの操作音、タイマーのブザー音の音階を設定できます。
- 音量は5段階、音階は7種類に設定できます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[BUZZER]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) ボリュームとトーンの設定(VOLUME/TONE)
アップキー/ダウンキーでボリューム(音量)とトーン(音階)を設定します。

○設定範囲 VOLUME OFF~5
TONE 1~7

○初期値 VOLUME 4
TONE 1

[M01:MODEL-01] 6.00



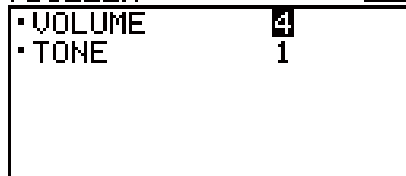
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

<システム> 6.00



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

>BUZZER 6.00



バッテリー[BATTERY]

- 送信機のバッテリーアラームの電圧設定を変更できます。
 - タイプ[DRYx4(乾電池)/Ni-MHx4(ニッケル水素)/Li-Fex2(リチウム フェライト)/Li-Pox2(リチウム ポリマー)、CUSTOM(カスタム)]を選択することによってアラーム設定を簡単におこなえます。
- ※タイプでカスタムを選択するとアラームが鳴り始める電圧を設定するALERT VOLTと下限電圧のLIMIT VOLTの設定が可能です。

- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[BATTERY]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) タイプの設定(TYPE)
アップキー/ダウンキーで使用するバッテリーにあわせてタイプ(TYPE)を設定します。

○設定範囲 DRYx4(乾電池)
Ni-MHx4(ニッケル水素)
Li-Fex2(リチウム フェライト)
Li-Pox2(リチウム ポリマー)
CUSTOM(カスタム) : ALERT VOLT 4.1~9.0v
LIMIT VOLT 4.0~9.0v

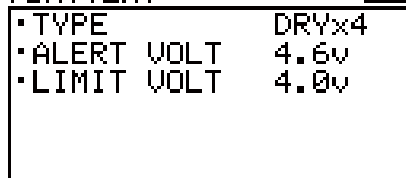
○初期値 DRYx4(乾電池)

<システム> 6.00



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

>BATTERY 6.00

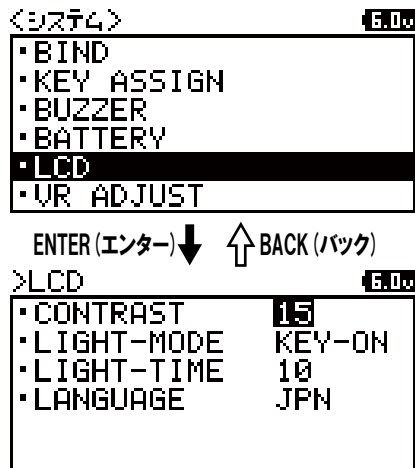


エルシーディー[LCD]

●LCD(液晶)のコントラスト(濃淡)やバックライトの点灯モード、言語表示が設定できます。

- 1)アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2)アップキー/ダウンキーで[LCD]を選択してエンターキーで決定します。
- 3)LCD(液晶)のコントラスト(濃淡)、バックライトの点灯モード(点灯時間)、ランゲージ(言語)を設定します。

- 設定項目 CONTRAST(液晶の濃淡)
LIGHT-MODE(バックライト点灯モード)
LIGHT-TIME(バックライト点灯時間)
LANGUAGE(日本語/英語表示切替)
- 設定範囲 CONTRAST : 0~30
LIGHT-MODE : OFF/KEY-ON/ALWAYS
LIGHT-TIME : 1~30sec
LANGUAGE : JPN/ENG
- 初期値 CONTRAST : 15
LIGHT-MODE : KEY-ON
LIGHT-TIME : 10sec
LANGUAGE : JPN



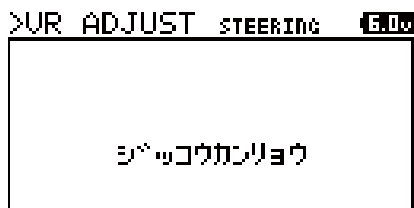
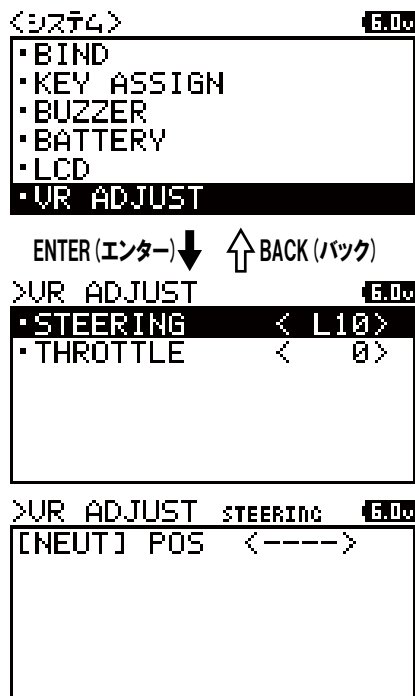
ボリューム アジャスト[VR ADJUST]

●使用時間による内部機構部品の消耗により、ニュートラル位置や動作角度がずれる場合があります。そのような場合にボリューム アジャストをおこなうことでステアリングとスロットルのニュートラル位置および動作角度の補正をかけることができます。

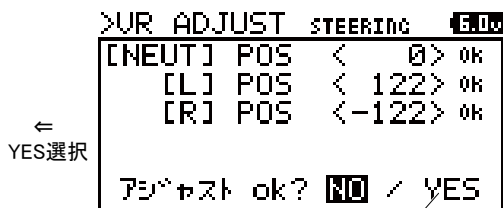
- 1)アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2)アップキー/ダウンキーで[VR ADJUST]を選択してエンターキーで決定します。
- 3)アップキー/ダウンキーでボリューム アジャストするチャンネルを選択してエンターで決定します。
- 4)STEERINGを選択した場合、ステアリング ホイルがニュートラルの状態ではエンター操作してからステアリング ホイルを左側、右側いっばいに操作します。
- 5)範囲内に入ると[OK]と表示されますので、画面の表示にしたがって操作してください。
- 6)ボリューム アジャストが完了すると[ジッコウカンリョウ]と表示されます。

補足

- ボリューム アジャストをおこなっても正常な動作に戻らないときは、三和サービスへお問い合わせください。



ボリューム アジャスト完了



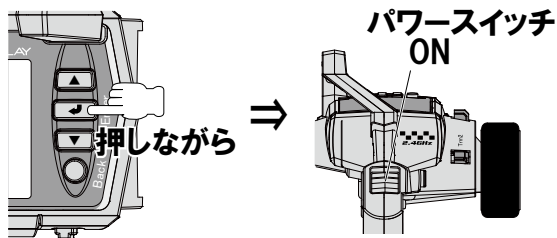
OKならYESを選択

各機能の使用法

セットアップウィザードについて

- エンターボタンを押しながらパワースイッチをONするとセットアップウィザードが立ち上がります。新しいRCカーをセットアップする際など、簡単操作で各種設定がおこなえる機能です。
- セットアップウィザードは、スタート画面→モデル選択→タイプ選択→モデル初期化→RFモード選択→レスポンスモード選択→バインド→ベース設定の手順となります。

1) エンターキーを押しながらパワースイッチをONします。



2) セットアップウィザード画面が表示されます。エンターキーを押すとセットアップウィザードがスタートします。

3) モデルセレクト画面に切り替わり、設定するモデルをアップキー/ダウンキーで選択します。設定するモデルが確定したらエンターキーで決定します。

4) カータイプセレクト画面に切り替わりますので、カータイプをアップキー/ダウンキーで選択します。カータイプが確定したら、エンターキーで決定します。

タイプ設定

- 設定範囲
- EP CAR STANDARD
 - EP CAR (LED UNIT)
 - EP CAR (SVZ)
 - EP CAR (SVD)
 - GP CAR STANDARD
 - 1/5 GP CAR DUAL BR1
 - 1/5 GP CAR DUAL BR2
 - CRAWLER 4WS/MOA

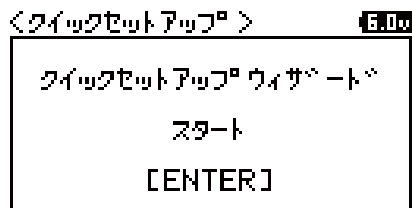
○初期値 EP CAR STANDARD

※各タイプでのチャンネル動作は以下のようになります。

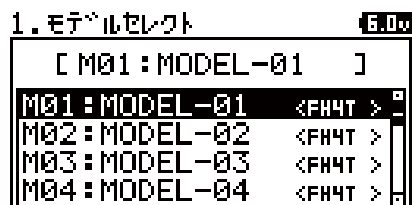
TYPE別チャンネル動作仕様

CH	TYPE	EP CAR STANDARD	EP CAR (LED UNIT)	EP CAR (SVZ)	EP CAR (SVD)	GP CAR STANDARD	1/5 GP CAR DUAL BR1	1/5 GP CAR DUAL BR2	CRAWLER 4WS/MOA
CH1		ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング 1	ステアリング	ステアリング F
CH2		ESC	ESC	ESC	ESC	スロットル /ブレーキ	スロットル /ブレーキR	スロットル	ESC F
CH3		AUX1	LED-ST	CODE1	CODE1	AUX1	ステアリング 2	ブレーキ R	ステアリング R
CH4		AUX2	LED-TH	CODE2	CODE2	AUX2	ブレーキ F	ブレーキ F	ESC R

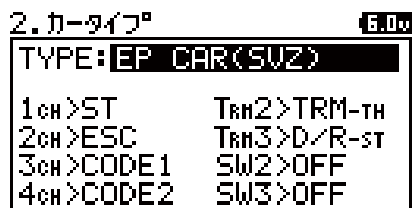
※使用するRCにあわせてタイプ選択してください。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

5) カータイプ設定を決定するとしてエンターで決定すると
 イニシャライズ(モデル初期化)画面に切り替ります。
 メッセージに従ってイニシャライズをおこなってください。

6) イニシャライズ(モデル初期化)が完了すると
 RFモード選択画面に切り替ります。
 使用する受信機にあわせてRFモードを
 アップキー/ダウンキーで設定してエンターキーで
 決定してください。

- 設定範囲 FH4T/FH3
- 初期値 FH4T

- 対応受信機 FH4T
 RX-482, RX-481, RX-472, RX-471,
 RX-462, RX-461, SV-PLUSシリーズ
- FH3
 RX-451R, RX-451, RX-381, RX-380

7) 受信機にあわせたRFモードが決定されると
 レスポンスモード選択画面に切り替ります。
 使用するサーボや機器にあわせて各チャンネルの
 レスポンスモードを設定します。
 アップキー/ダウンキーで設定し、エンターキーで
 決定してください。

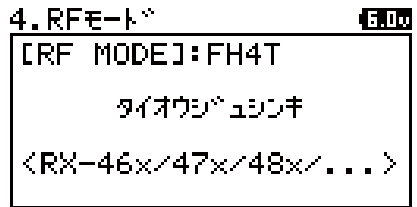
- 設定範囲 NOR(ノーマル/アナログサーボ)
 SHR(ハイレスポンス/デジタルサーボ)
 SSR(スーパーレスポンス/SRGサーボ)
- 初期値 NOR(ノーマル/アナログサーボ)

8) レスポンスモードの設定が完了すると
 BIND(バインド)設定画面に切り替ります。
 画面メッセージに従ってバインド作業を
 おこなってください。

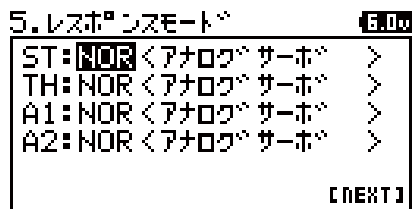
9) BIND(バインド)が終了するとベース設定画面に
 切り替ります。各チャンネルの設定をおこなって
 ください。(P.37参照)

10) ベース設定が終了するとセットアップウィザードは
 終了します。エンターボタンを押すと、トップ画面へ
 切り替ります。

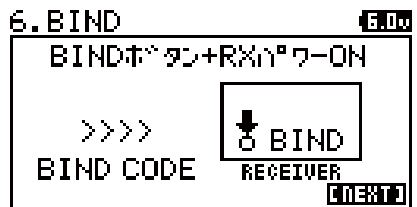
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



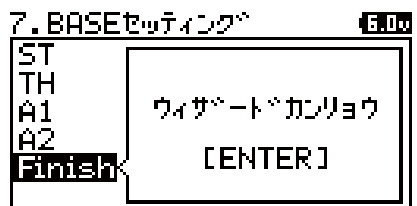
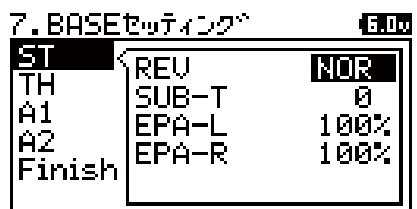
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



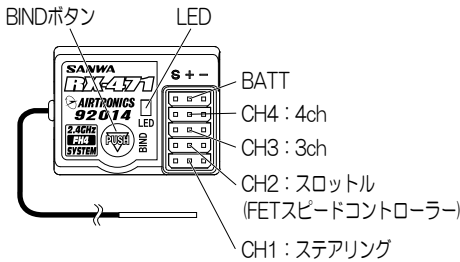
重要

- SHR/SSRモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。
 誤ってSHR/SSRモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR/SSRモードでアナログサーボを使用しないでください。
 デジタルサーボ(SRG, ERB, ERSシリーズ, Digital ERGシリーズ)の場合はNOR/SHRモードのどちらでも動作します。
- SSRモードはSRGサーボ, SUPER VORTEX/SV-PLUSシリーズ, HV-12 STOCK SPECIAL, HV-01のみ動作します。
- MT-SはRX-451Rを使用してSHRの表示でBINDしてもSSRモードにはなりません。表示通りの動作になります。
- SHR/SSRモードではBL-RACER, BL-FORCE, F2000, F2200, F3000, F3300, SBL-01, 02, 03CLは動作しません。
 必ずNORモードでご使用ください。
- SV-08, HV-10, HV-12, F2500はNOR/SHRモードで動作します。

受信機の接続と搭載について

受信機について

●RX-471 (例)

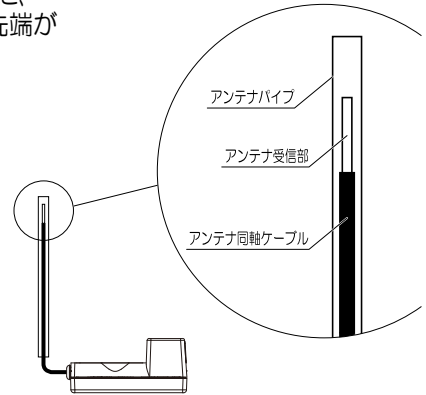


受信機LEDの状態

電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND(バインド)設定中	青点滅、青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青&赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後に電波を受信できない状態	赤点灯

アンテナの取り扱いについて

- 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
- 右図のようにアンテナ受信部(先端から3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、アンテナ受信部の先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- 内部で断線の恐れがありますので、アンテナ受信部/アンテナ同軸ケーブルを絶対に折り曲げないでください。
- 同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。
- RCカーに搭載したときにアンテナ受信部がなるべく高い位置になるように配置してください。
- 受信感度が低下する恐れがありますので、アンテナ受信部、アンテナ同軸ケーブルは切断したり束ねたりしないでください。
- 受信機のアンテナはモーター、FETスピードコントローラー(配線も含む)から離して、垂直に立ててください。

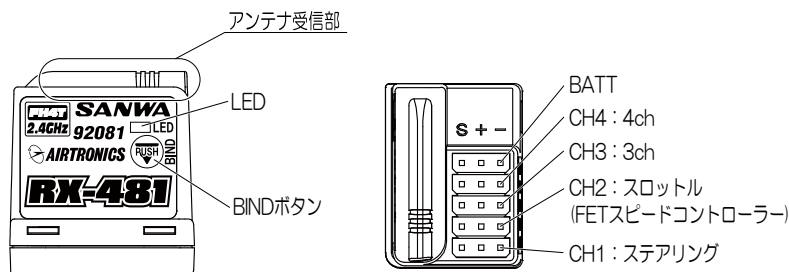


⚠ 注意

- 走行中の振動でコネクターが抜けると暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクターは確実に接続してください。
- 受信機は振動、衝撃、水に弱いので防振/防水対策を確実にこなってください。対策をおこたると暴走の危険があります。
- 受信機の取り付けはカーボンシャシー、金属シャシーから離して取り付けてください。
- RCカーに搭載している金属パーツ同士が接触するとノイズが発生し受信性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
- 電動RCカー用のブラシモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
- 送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー、送信機バッテリー等のプロポパーツはSANWA純正品をご使用ください。

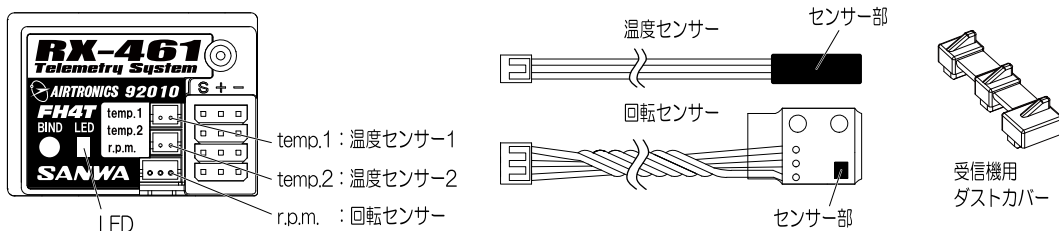
※SANWA純正品以外の組み合わせや当社以外で改造、調整、部品交換などがおこなわれた場合により発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

アンテナ内蔵受信機について



- 受信機のアンテナ受信部部の位置により、受信距離が異なります
- 上図のアンテナ受信部が高い位置になるように設置してください。

テレメトリーセンサー対応受信機について (RX-461/RX-462)

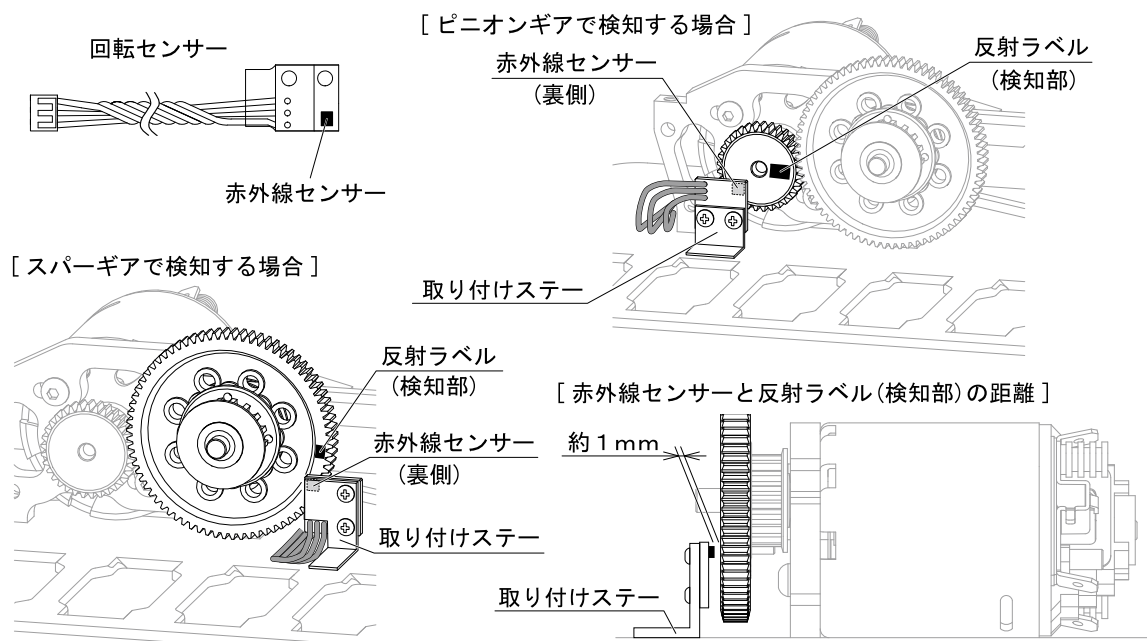


- 受信機にセンサーを接続する際に受信機上部のコネクターカバーをはずして、温度センサーと回転センサーを接続してください。
- センサーを接続しないコネクターには受信機用ダストカバーをカットして使用してください。
- 温度を計測する対象物に温度センサーのセンサー部を密着させてください。
センサー部は温度に対して非常に敏感なため、外気などの影響を極力受けないように固定してください。
- 回転センサーを取り付ける際は、回転数を計測するポイントに同梱の反射ラベルを貼りつけて、回転センサーのセンサー部が検知できるように回転センサーを固定してください。
回転センサーが正常に検知しているときに受信機のLEDが緑色に点灯/消灯します。
※回転センサーと検知部との距離は1mm程度が推奨です。
- 同梱されている回転センサーラベルの使用方法に関して、回転数を計測するポイントが黒い場合は白の反射ラベルを、計測するポイントが白い場合は黒の反射ラベルを回転センサーが検知できるようにカットして貼りつけてください。使用する反射ラベルによってセンサー検知時に受信機LEDが緑色に点灯/消灯します。(センサーが検知できればどちらを使用しても問題ありません。)
- 同梱の回転センサーは赤外線方式を採用しており太陽光の影響を受けやすい仕様になっています。正常にセンサーが検知できない場合にはセンサー部に太陽光の影響を受けないように工夫してください。
- 温度センサーや回転センサーのコードやセンサー部が車体の回転部分や可動部に接触したり、巻き込まれたりしないように注意して固定してください。
- 温度センサーや回転センサー設置時に怪我をしないように注意してください。

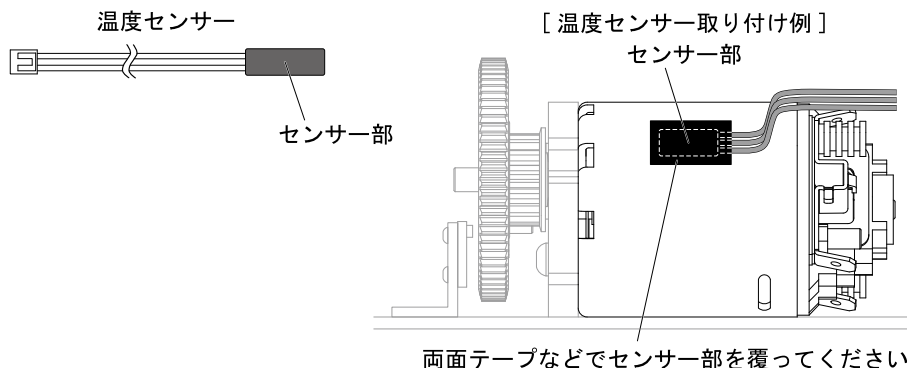
受信機の接続と搭載について

センサーの取り付けについて (RX-461/RX-462)

- 回転センサーを取り付ける際は、回転数を計測するポイント(例：ピニオンギアやスパーギア等)に同梱の反射ラベルを貼り、回転センサーの赤外線センサーが検知できるようにセンサー取り付けステーをポリカーボネート板やアルミ角材などから切り出して回転センサーを固定してください。回転センサーが正常に検知しているときに受信機のLEDが緑色に点灯/消灯します。
※ 赤外線センサーと反射ラベル(検知部)との推奨距離は約1mmです。
- 同梱されている回転センサー用反射ラベルの使用方法に関して、回転数を計測するポイントに白または黒の反射ラベルを、回転センサーが検知できるように(2mm角程度)にカットして貼り付けてください。反射ラベルの色によってセンサー検知時に受信機LEDの反応が変わります。赤外線センサーの前を反射ラベルが通過した時に、白い反射ラベルの場合は緑色LEDが点灯し、黒い反射ラベルの場合は緑色LEDが消灯します。
- ※ 回転センサーの動作確認をおこなう場合は受信機側の電源スイッチだけをONにしてください。送信機側の電源スイッチもONになっていると受信状態を問わず青色LEDが点灯するので、センサー検知時の緑色LEDの点灯/消灯の確認ができなくなります。
- 同梱の回転センサーは赤外線方式を採用しており、太陽光の影響を受けやすい仕様になっています。正常にセンサーが検知できない場合は赤外線センサーが太陽光の影響を受けないように工夫してください。
- 違う駆動レイアウトの車輪に回転センサーを取り付ける場合には、下記を参考にしてください。



- 温度センサーは温度を計測する対象物に温度センサーのセンサー部を密着させてください。センサー部は温度に対して非常に敏感なため、両面テープなどで外気などの影響を受けないように固定してください。



- 回転センサーや温度センサーのコードやセンサー部が車体の回転部分や可動部に接触したり、巻き込まれたりしないように注意して確実に固定してください。
- 回転センサーや温度センサー設置時に怪我をしないように注意してください。

キーアサイン機能一覧

画面表示	機能名称	トリム	SW1	SW2	SW3
OFF	——(機能割付け無し)	○	○	○	○
TRIM-ST	ステアリングトリム	○	—	—	—
TRIM-TH	スロットルトリム	○	—	—	—
TRIM-A1	AUX1トリム	○	—	—	—
TRIM-A2	AUX2トリム	○	—	—	—
D/R-ST	ステアリング デュアルレート	○	○	○	○
D/R-TH	スロットル デュアルレート	○	○	○	○
D/R-BR	ブレーキ デュアルレート	○	○	○	○
CUR-ST	ステアリング カーブ	—	○	○	—
CUR-TH	スロットル カーブ	—	○	○	—
CU-R-ST	ステアリング カーブ レート	○	—	—	○
CU-R-TH	スロットル カーブ レート	○	—	—	○
CU-R-BR	ブレーキ カーブ レート	○	—	—	○
SPD-ST	ステアリング スピード	—	○	○	—
SPD-TH	スロットル スピード	—	○	○	—
SP-ST-F	ステアリング スピード フォワード	○	—	—	○
SP-ST-R	ステアリング スピード リターン	○	—	—	○
SP-TH-F	スロットル スピード フォワード	○	—	—	○
SP-TH-R	スロットル スピード リターン	○	—	—	○
ALB	アンチ ロック ブレーキ	—	○	○	—
ALB-PO	アンチ ロック ブレーキ ポイント	○	—	—	—
ALB-ST	アンチ ロック ブレーキ ストローク	○	—	—	○
ALB-LG	アンチ ロック ブレーキ ラグ	○	—	—	○
ALB-CY	アンチ ロック ブレーキ サイクル	○	—	—	○
OFFSET	オフセット	○	○	○	○
AUX1	AUX1	○	○	○	○
AUX1(CODE1)	AUX1(コード1)	○	—	—	○
AUX1(CODE2)	AUX1(コード2)	○	—	—	○
AUX1(CODE3)	AUX1(コード3)	○	—	—	○
AUX1(CODE4)	AUX1(コード4)	○	—	—	○
AUX1(CODE5)	AUX1(コード5)	○	—	—	○
AUX2	AUX2	○	○	○	○
AUX2(CODE1)	AUX2(コード1)	○	—	—	○
AUX2(CODE2)	AUX2(コード2)	○	—	—	○
AUX2(CODE3)	AUX2(コード3)	○	—	—	○
AUX2(CODE4)	AUX2(コード4)	○	—	—	○
AUX2(CODE5)	AUX2(コード5)	○	—	—	○
ASIST-ST	ステアリング ドライブ アシスト	—	○	○	—
TIMER	タイマー	—	○	—	—
TE-CLR	テレメトリー MAX クリア	—	○	—	—
LOGGER	ログ クリア&スタート	—	○	—	—

設定可能…「○」 設定不可…「—」

索引

あ	アラート セットアップ[ALERT SETTING]	P.36
	アンチ ロック ブレーキ[ALB]	P.20
	インターバル タイマー[INT TIMER]	P.34
	エル シー ディー[LCD]	P.42
	エー ユー エックス[AUX]	P.23~28
	エー ユー エックス ミキシング[AUX-MIX]	P.27
	エンド ポイント アジャスト[EPA]	P.17、18
	オフセット[OFFSET]	P.21
か	カーブ[CURVE]	P.14
	キーアサイン スイッチ[KEY ASSIGN SW]	P.39
	キーアサイン トリム[KEY ASSIGN TRIM]	P.40
	コード エー ユー エックス[CODE AUX]	P.28
さ	サブ トリム[SUB TRIM]	P.16
	スピード[SPEED]	P.13
	ステップ エー ユー エックス[STEP AUX]	P.23
	スロットル タイプ [TH TYPE]	P.22
	システム[SYSTEM]	P.37~42
	セットアップ ウィザード	P.12~22
	セットアップ ウィザード	P.43、44
た	タイマー[TIMER]	P.33、34
	ダウン タイマー[DOWN TIMER]	P.34
	テレメトリー[TELEMETRY]	P.35、36
	テレメトリー セットアップ[TELEMETRY SETTING]	P.36
	デュアル レート[D/R]	P.12
	トリム[TRIM]	P.19
は	バインド[BIND]	P.37、38
	バッテリー[BATTERY]	P.41
	ファンクション[FUNC]	P.19
	フェール セーフ[F/S]	P.15
	4ホイール ステアリング[4WS]	P.25
	ブザー[BUZZER]	P.41
	ベース[BASE]	P.16
	ポイント エー ユー エックス[POINT AUX]	P.24
	ボリューム アジャスト[VR ADJUST]	P.42
ま	モデル[MODEL]	P.29~32
	モデル クリア[MODEL CLEAR]	P.32
	モデル コピー[MODEL COPY]	P.31
	モデル セレクト[MODEL SELECT]	P.29
	モデル ネーム[MODEL NAME]	P.30
	モーター オン アクスル [MOA]	P.26
ら	ラップ タイマー[LAP TIMER]	P.33
	リバース[REV]	P.16

こんなときは・・・

現象	原因	処理
電源が入らない。	乾電池またはバッテリーが消耗している。 乾電池の入れ間違い。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。 極性表示とおりに入れなおす。
ときどき電源が切れる。	コネクター等の接触不良	サンワサービスへ
距離が届かない。	乾電池またはバッテリーが消耗している。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。 直らない場合はサンワサービスへ
アラームが鳴り止まない。	送信機のバッテリー電圧が低下している。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。
キーを押してもクリック音が鳴らない。	BUZZER機能のVOLUMEがOFF (0)になっている。	BUZZER機能を確認してください。(P.41)
サーボのスピードが遅い。	SPEED(スピード)の機能で設定がマイナスになっている。	SPEED(スピード)の機能を確認してください。(P.13)
	受信機バッテリーの電圧が低下している。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。
	車体側のリンクージが重い。	車体側のリンクージが軽く動くか確認してください。
左右の舵角を合わせても、左右の舵角が違う。	トリムニュートラルがズれている。	トリムを合わせ、EPAを再設定してください。(P.19)
操作したとき両端でサーボが動かない。	D/R、EPAの舵角設定が大きすぎる。	どちらかの値を100%以下に設定します。(P.12、17、18)
トリムを操作してもサーボが動かない。	トリム動作範囲の片側いっぱいになっている。	サーボホーン、トリムセンターを再設定します。(P.19)

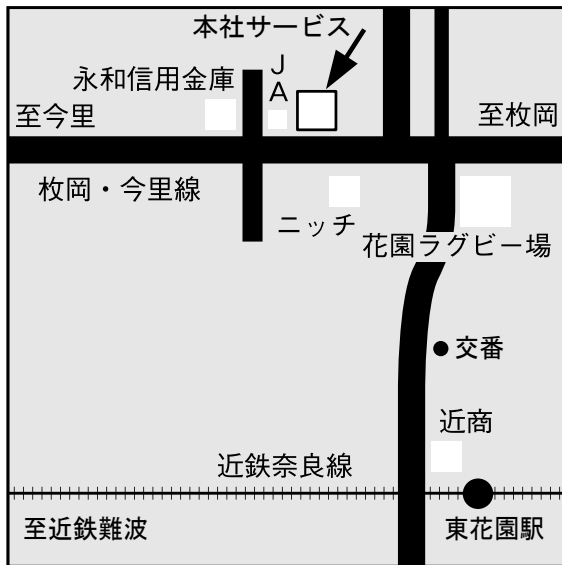
サンワ サービスについて

調子が悪いときはまずチェックを。この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも異常のあるときはトラブルの状況を詳しくご記入の上、本社サービスまで修理依頼
してください。

オーバーホールや点検時は点検内容を詳しくご記入ください。

また、ご質問、お問い合わせ等がありましたら、本社サービス/東京営業所にて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除くAM9：30～12：00、PM1：00～5：00です。



〈本社サービス〉

東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 ☎072(962)2180

修理依頼カード

このカードは故障状態を詳しくご記入のうえ必ず製品といっしょにお送りください。

〒 -

ご住所

フリガナ
お名前

電話 市外()
()-

修理依頼用件

ご意見・ご要望

1回目 年 月 日

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- ノーコンになる。
- 水が入った。
- その他

修理依頼用件

ご意見・ご要望

2回目 年 月 日

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- ノーコンになる。
- 水が入った。
- その他

キリトリ線



SANWA プロポ保証書

製品型名 **MT-S**

製造番号

ご住所

お名前

保証期間

お買上げ日
有効期限

年 月 日) 180日間
年 月 日

販売店名・印

当社製品を上記記載通り保証いたします。


三和電子機器株式会社

「???'と感したら……

動きがおかしかったり、「???'と感したときは次のことをもう一度確認してください。

- 送信機、受信機の乾電池は正しく入っていますか？ 極性（+、-）は間違えていませんか？
- 送信機、受信機の電源スイッチは“ON”になっていますか？
- 送信機、受信機のBIND(バインド)設定は正しくできていますか？
- コネクターがはずれていませんか？
- 動作部分のリンケージ(セットアップ)が固すぎませんか？

以上のことを確かめても正常に動作しないときは、サンワ サービスに保証書と修理依頼カードを添付してお送りください。

 プロポは水が一番きらいです。プロポに水が入りそうな場合は、防水対策をおこなってください。ビニール袋等に入れて袋の口をゴムやテープでふさいでください。受信機やサーボに水が入ると、内部の電子部品が壊れて動作しなくなります。



キリトリ線

- 1.本保証書は表面記入の製品型名、製造番号のみについて有効です。
- 2.正常な使用状態において、製造上の責任による故障はお買い上げの日から6ヶ月(180日)以内にて無償修理いたします。
但し、車体、エンジン等その他の保障についてはご容赦願います。
- 3.保障期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - 電氣的、機械的に変更または手を加えられた場合。
 - 弊社サービス以外で修理された場合。
 - 使用上の操作の過失、または事故により発生した故障と認められた場合。
 - 本保証書を紛失された場合、または修理の際に添付されない場合。
 - お買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合。
 - 記入事項を訂正された場合。



SANWA

三和電子機器株式会社

本社 / 東大阪市吉田本町1-2-50 〒578-0982 ☎072 (964) 2531
東京営業所 / 東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル) 〒111-0053 ☎03 (3862) 8857

- 予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 2015年10月 第1版